iiZA　中野エンジニアリング株式会社

地上波デジタル対応 浴室テレビ

型名　WP-1400L・WP-1800

取扱説明書

このたびは、浴室テレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
保証書にお取付店名、お引渡日などが記入されていることを必ずお確かめください。

CONTENTS

はじめに

ご使用の前に

準備編

操作編

必要なとき

保証書別添付

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本製品をご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書では、お客様ならびに他の人への危害、物的損害を未然に防ぐための内容を説明しています。
次の表示の区分と図記号の内容をご理解のうえ、本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られる場所に保存しておいてください。

表示と意味は次のようになっています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容を絵表示し、その意味は次のようになっています。

分解禁止

分解・改造を
おこなわないでください。

接触禁止

直接、手で
ふれないでください。

してはいけない
「禁止」の内容です。

気をつける必要がある
「注意」の内容です。

しなければならない
「指示」の内容です。

⚠ 使用前の注意事項

- 本製品は、日本国内用です。日本国内以外では使用できません。
- 本製品は、一般家庭用です。一般家庭以外（たとえば車両・船舶等への搭載など）で使用されますと故障の原因になることがあります。
- 本製品はAC100V（50Hz／60Hz）電源用です。これ以外の電源では使用できません。
- 本製品は、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送などは受信できません。
  BSデジタル放送、110度CSデジタル放送をお楽しみいただく場合は、別途BSデジタル放送、110度CSデジタル放送に対応したチューナーが必要になります。
- 本製品で受信可能な信号は、地上デジタル放送をUHFアンテナで受信した信号か、CATVで同一周波数パススルー方式または周波数変換パススルー方式の信号です。
  トランスモジュレーション方式のCATV信号には対応していません。
  詳しくはCATV放送会社や管理組合へお問い合わせください。

⚠ 警告

必ず行う

初めてご使用するときは、屋内開閉器（ブレーカー）が設置されている場所を確認しておく

分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わない

火災、感電の原因になります。
※修理はお求めの販売店・取付工事店に依頼してください。

接触禁止

ぬれた手で屋内開閉器（ブレーカー）をさわらない

感電のおそれがあります。

接触禁止

雷が発生した際は、モニターに触れず、屋内開閉器（ブレーカー）にて電源を切る

感電のおそれがあります。

禁止

万一、煙が出る・変なにおいがした場合は、ただちに使用をやめ、屋内開閉器（ブレーカー）にて電源を切る

感電や火災、事故のおそれがあります。ただちにお求めの販売店・取付工事店にご相談ください。

必ず行う

施工工事は専門業者に依頼してください

電気工事士の資格が必要ですので、お客様による工事はおやめください。
火災や、感電の原因になります。

禁止

ご自身で取り付け位置を変更しない

感電や火災、漏水のおそれがあります。
※変更の際はお求めの販売店・取付工事店にご相談ください。

⚠ 注意

禁止

ケースが割れた、画面が映らないなどこわれたままで使用しない

感電や火災、事故のおそれがあります。

禁止

上に物を置かない

落下してけがをするおそれがあります。

必ず行う

製品が確実に取り付けられているか確認する

漏水のおそれがあります。確実に取り付けられていない場合は、お求めの販売店・取付工事店にご相談ください。

必ず行う

リモコンの電池はプラス⊕とマイナス⊖に注意して正しく入れる

電池の液もれなどにより、周囲が汚れたりするおそれがあります。

使用上のご注意

機器の故障、破損の原因になりますので、次のことをお守りください。

注意

モニターとリモコンについて

禁止

故意に水をかけない

スピーカー穴に水が溜まり音が小さくなったり、画面に水あかがついたりします。水がかかった場合は早めにふき取ってください。

必ず行う

スイッチは軽く指で操作する

先のとがったもので操作したり、衝撃をあたえると故障の原因となります。

必ず行う

シャンプーなどがついたら、軽く絞った布で拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取る

そのまま放置すると変色、故障の原因となります。

必ず行う

ドライサウナに設置しない、使用温度範囲内で使用する

使用温度（0℃〜50℃）の範囲外で使用すると、画像の乱れや故障の原因になります。

モニターについて

禁止

画面を強く押さない

画面にムラが出たり、液晶パネル故障の原因となります。

禁止

スピーカー部に物を差し込まない

防水機能がこわれ、故障の原因となります。

リモコンについて

注意

テレビ本体に向けて操作する

注意

浴槽に浮かべたり沈めたりしない

故障の原因となります。

必ず行う

電池交換は水滴をよく拭き取ってから行う

水が中に入ると故障の原因となります。

必ず行う

電池ふたは確実にしめる

故障の原因となります。

注意

落とさない

故障の原因となります。

必ず行う

リモコンホルダーは日の当たらない所につける

変色などの原因となります。

液晶パネルについて

注意

画面に点（赤、青または緑）があるのは、液晶パネル特有の現象であり、故障ではありません。

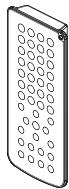
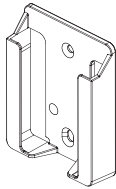
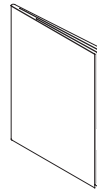
液晶パネルは非常に精密な技術で製造されておりますが、画素抜けや点の常時点灯するものがありますので、ご了承ください。

注意

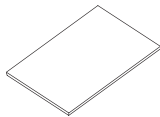
液晶パネルは消耗品のため、使用頻度によっては、画面が暗くなる場合があります。

付属品の確認

最初に付属品を確認してください。

リモコン：1個

リモコンホルダー：1個

取扱説明書（本書）

ボタン型電池：1個
（リモコン 動作確認用）

電池番号：CR2032

両面テープ：1個
（リモコンホルダー固定用）

保証書

保証書

B-CASカードについて

■はじめに

● 本製品の電源・チューナーボックスには、地上デジタル放送を試聴するために必要な『特別内蔵用B-CASカード』が内蔵されています。

● B-CASカードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属しています。

● お客様は、「B-CASカード使用許諾契約約款」（12ページ）に基づいてこのカードを使用することができます。

お知らせ

※「B-CASカード使用許諾契約約款」は変更される場合があります。
最新版はB-CASホームページ（http://www.b-cas.co.jp）で確認してください。

■B-CASカード使用の同意手続き

「B-CASカード使用の同意手続き」（11ページ）のとおり、モニターに貼られている「特別内蔵用B-CASカードに関する注意書」をはがしてから、本製品をご使用ください。

■B-CASカードのID番号

B-CASカードのID番号は電源・チューナーボックス上部の規格銘版に記載されております。
また、「B-CAS番号を確認する〈B-CAS〉」（50ページ）の操作でも確認できます。

■B-CASカードの故障・交換について

本製品に付属の保証書に基づいて、修理・交換いたします。

お知らせ

※「B-CASカードを確認してください」というメッセージが表示された場合は、お求めの販売店に連絡してください。

各部のなまえと働き

モニター

スピーカー部
音がでます。

液晶画面
映像や各種調整の表示を行います。

電源オン時:点灯しています。
電源オフ時:消灯しています。

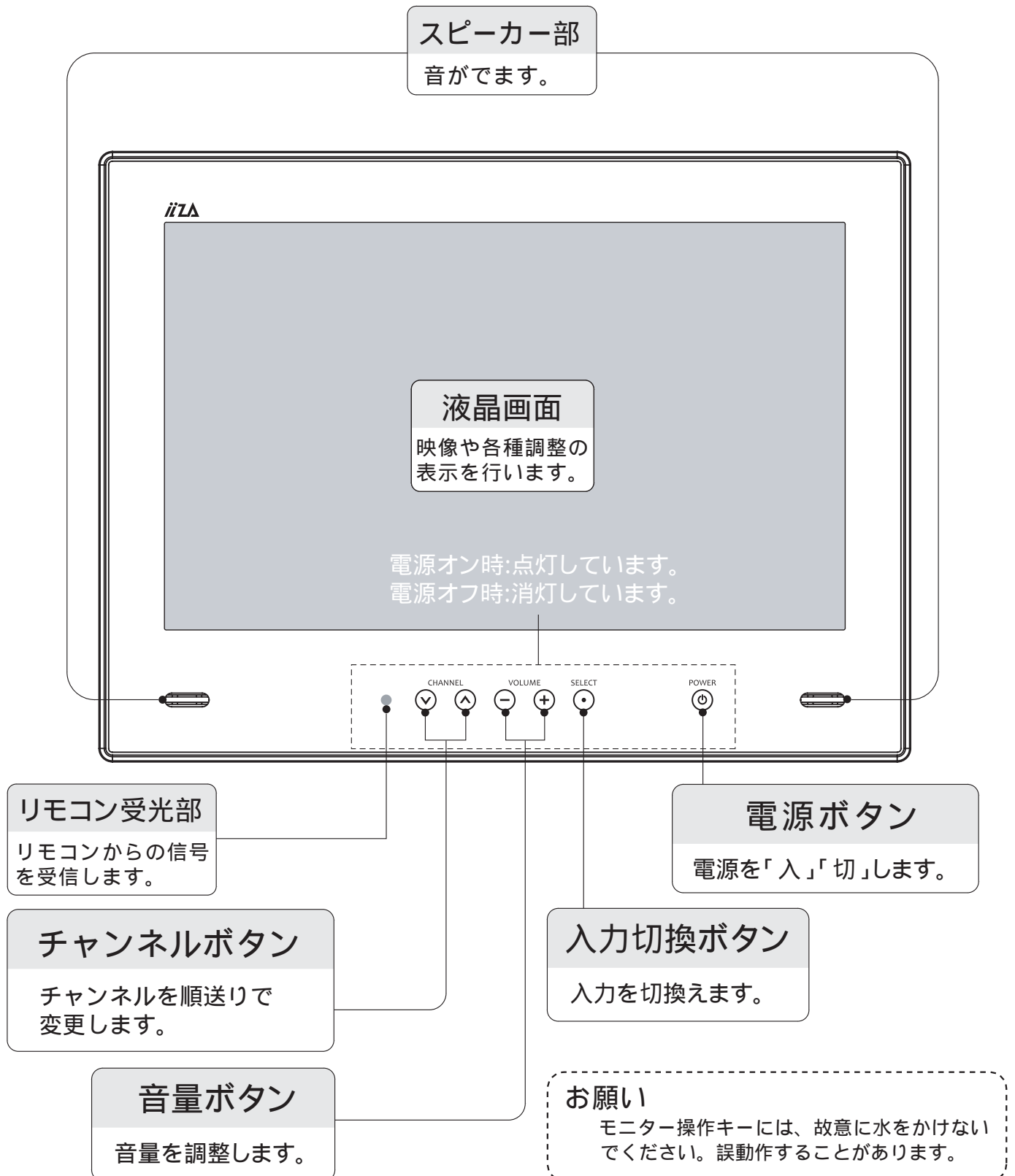
リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。

電源ボタン
電源を「入」「切」します。

チャンネルボタン
チャンネルを順送りで変更します。

入力切換ボタン
入力を切換えます。

音量ボタン
音量を調整します。

お願い
※モニター操作キーには、故意に水をかけないでください。誤動作することがあります。

リモコン

注意 **リモコンは必ずリモコンホルダーに入れて保管すること**
他の場所に置いた場合、落下や水没のおそれがあり、故障の原因となります。

画面表示ボタン
視聴中の番組、選択中の入力を表示します。

入力切換ボタン
入力を切換えます。

地上アナログボタン
地上アナログ放送に切換えます。

地上デジタルボタン
地上デジタル放送に切換えます。

画面サイズボタン
画面のサイズを変えます。

チャンネルボタン
チャンネルを順送りで変更します。

映像モードボタン
映像モードを切換えます。

メニューボタン
メニュー画面を表示します。

番号入力ボタン ※
地上デジタル放送の場合に3桁チャンネル番号を入力して選局します。

番組表ボタン ※
地上デジタル放送の電子番組表（EPG）を表示します。

外部機器操作ボタン
枠内のボタンで外部機器の操作が出来ます。
（別売品のケーブルが必要です。
（57ページ））

電源ボタン
電源を「入」「切」します。

オフタイマーボタン
自動で電源が切れる時間を設定します。

チャンネル数字ボタン
チャンネルを直接選びます。

音声切換ボタン
ステレオ／2ヵ国語放送など音声を切換えます。

音量ボタン
音量を調整します。

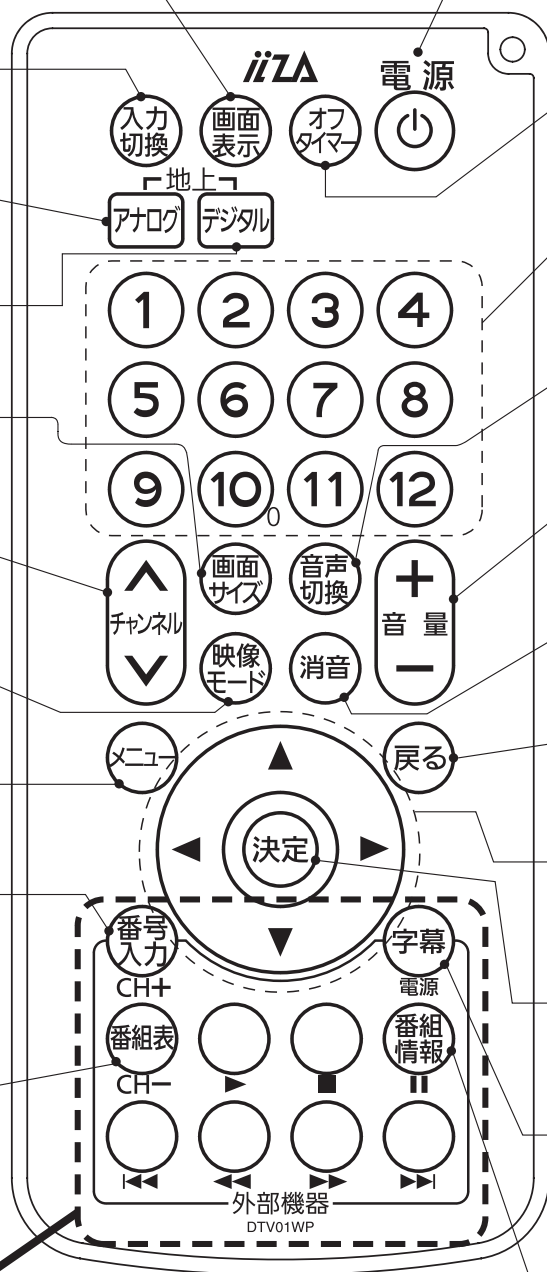
消音ボタン
一時的に音を消します。

戻るボタン
1つ前の画面に戻ります。

ボタン
各種設定において、項目間を移動します。

決定ボタン
画面上で選択や決定をします。

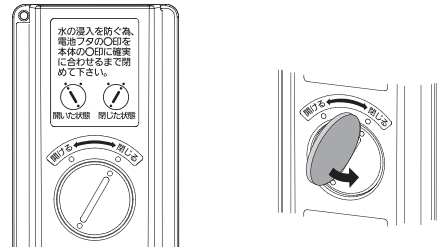
字幕ボタン ※
地上デジタル放送で字幕を表示します。

番組情報ボタン ※
視聴中の地上デジタル放送の番組情報を表示する。

※地上デジタル放送受信の時のみ有効

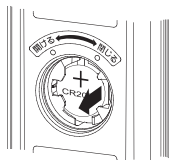
リモコンの準備

電池を入れる（交換する）

コインなどを使って、リモコン背面の電池ふたを回して開ける。

＊電池ふたをなくさないよう、ご注意ください。
＊電池ふたを開ける時は、リモコン内部に水が入らないように注意してください。

2 古い電池を取り外し、新しい電池（ボタン型電池CR２０３２）の＋と－の向きを正しく入れる。（プラス⊕が見えるように!）

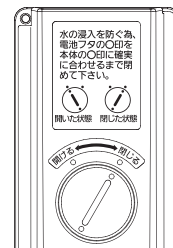
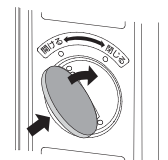
＊指定以外の電池は使用しないでください。

■電池を外すとき

電池の右側面に指を引っかけ、左側へ押しながら引き上げると、電池が外れます。

■電池を入れるとき

電池を入れる穴の左側から電池を差し込んで入れます。

3 電池ふたを溝に合わせて取り付け、押さえるようにしながらコインなどを使って「閉じる」の位置まで確実に閉める。

＊電池ふたとリモコンの●印を確実に合わせてください。

お知らせ

※付属品の電池は動作確認用ですので、保存状態により短期間で消耗することがあります。
※長い間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。

操作できる範囲について

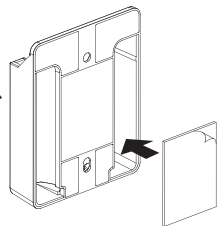
リモコンは、画面左下の受信部に向けて操作します。操作できる範囲は、受信部から約5m、上下左右に約30度以内です。

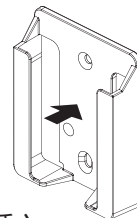
お知らせ

※リモコンはテレビに向かって操作してください。
※リモコンと本機の間に障害物があったり、リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などがあたっている場合は、正しく動作しない場合があります。
※リモコンを使用できる距離が短くなったり、リモコンが動作しなくなってきたら、新しい電池に交換してください。

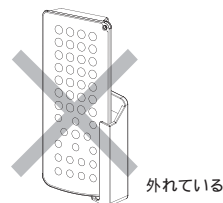
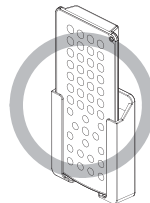
リモコンホルダーを取付ける

1 取付面の汚れや水滴をよく拭き取る。

2 両面テープをホルダーに貼付け、保護紙をはがす。

3 お好みの位置に貼付ける。

※直射日光の当たらない位置に貼付けてください。
※必ず壁に貼付けてください。
※壁のつなぎ部分には貼付けないでください。
※気温の低いときは、両面テープをドライヤーなどであたためてから貼付けてください。

4 上から強く押して確実に貼付け、リモコンを挿入しない状態で24時間以上放置してください。
※ねじでの固定を推奨します。

お願い

●リモコンの左右がリモコンホルダーにきちんと納まるようにまっすぐに入れてください。
左右どちらかがリモコンホルダーから外れると、リモコンが落ちて破損するおそれがあります。

お知らせ

※リモコンが出し入れできることをご確認の上、リモコンホルダー貼付け位置を決めてください。
※リモコンをホルダーに入れた状態ではリモコンの信号はテレビに届きません。

⚠注意

必ず行う

リモコンの電池ふたの開閉時は、水が入らないようにする
火災や感電、故障の原因になります。

必ず行う

電池の＋と－の向きを正しく入れる
液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因になります。

必ず行う

リモコンの電池ふたや電池を取り出した場合、小さなお子さまが誤って飲み込むことがないように、幼児の手の届かないところに置く。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

必ず行う

リモコンの電池ふたの開閉は、充分に水を拭き取ったあと、水がかからないところで乾いた手でおこなう
万一、開閉時に水が入ってしまった場合には、すぐに電池と内部の水を拭き取ってください。

必ず行う

電池を交換したあとは、電池ふたを確実に閉める
ふたの閉め方が不十分のときは、リモコン内部に水が浸入して、故障します。

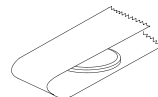
禁　止

指定（CR2032）以外の電池を使わない。
破損したり液が漏れたりして、けがややけどの原因になることがあります。

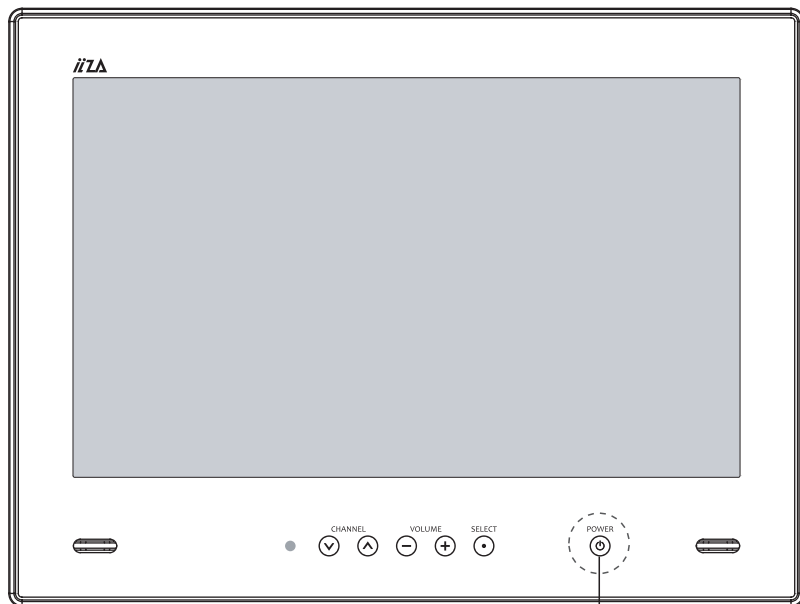
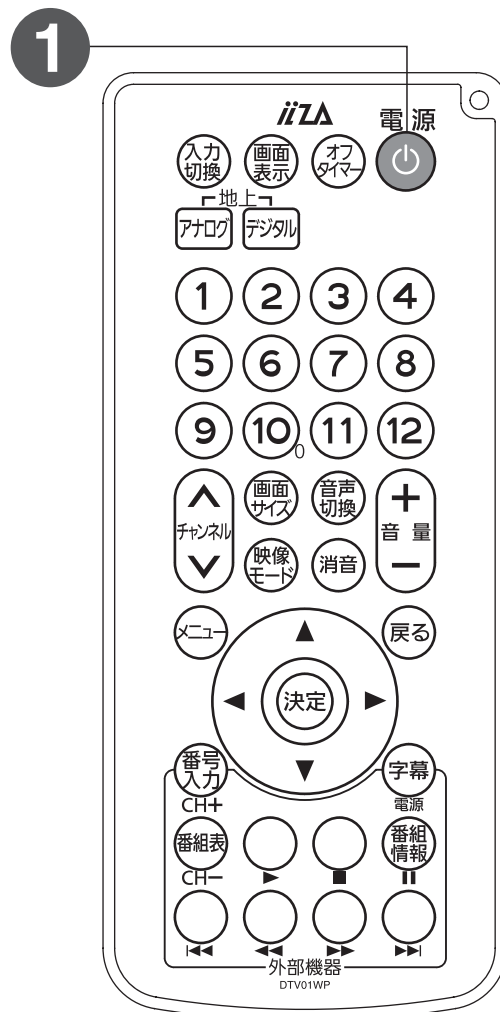
接触禁止

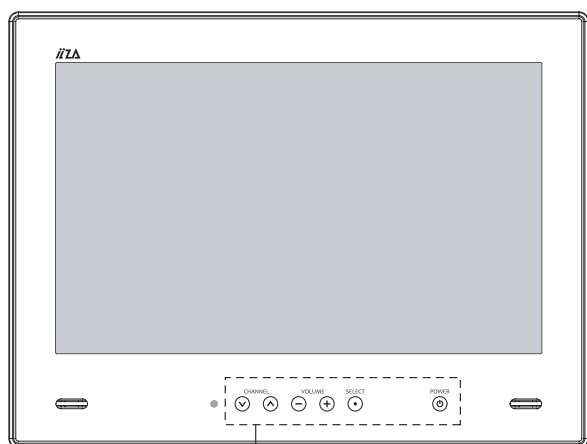
電池の液が漏れた場合は素手で触らない。
皮膚の炎症、失明やけがの原因になります。目に入った場合は流水で洗い、眼科医の治療を受けてください。

使用済みの電池の処分について

●使用済みの電池はテープなどで端子部を絶縁し、市町村の指示に従って処分してください。

●火に投げ入れたり、分解をしないでください。
●幼児の手の届くところに置かないでください。
万が一飲み込んだときは医師に相談してください。

電源を入れる

● モニターの電源を入れます。

1 電源を入れる

動作状態になります。
押すたびに電源を「入」・「切」します。

モニター操作キーが点灯します。

お知らせ

※電源を入れると、自動的にオフタイマー「あと120分」になります。（36ページ）

メニュー項目の一覧

●リモコンのメニューボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。
　◁◯▷ で設定したい項目を選び、決定ボタンまたは ◯ を押してください。
●ここでは、モニターに表示される全てのメニュー項目を記載していますが、実際に全ての項目が同時に表示されることはありません。本機の状態により必要な項目が表示されます。

▼メニュー画面

映像設定

映像設定

映像をお好みの状態に
調整する項目です。

映像モード　（27ページ）
映像調整/コントラスト
明るさ/カラー/色あい
シャープネス　（28ページ）
色温度/ダイナミックコントラスト
（29ページ）
NR/フィルムモード　（30ページ）
画面明るさ調整　（31ページ）

音声設定

音声をお好みの状態に
調整する項目です。

音声モード　（33ページ）
音声調整　（34ページ）
　高音
　低音
　バランス
サラウンド　（35ページ）
音声出力設定　（35ページ）

その他の設定

使用環境に合わせた
設置調整に関する
機能の項目です。

放送/入力スキップ設定
外部入力機器名設定　（37ページ）
OSD設定
　OSD透過設定　（38ページ）
　OSDサイズ設定　（38ページ）
タッチキー設定
　タッチ感度　（39ページ）
　キー操作音　（40ページ）
　タッチキーロック（40ページ）
外部機器リモコン設定（57ページ）
設定の初期化　（42ページ）

消費電力設定

電力資源を有効に
使用するための
設定項目です。

バックライト設定　（41ページ）
入力無信号オフ設定（41ページ）
無操作オフ設定　（42ページ）

地上アナログ設定 *1
地上デジタル設定 *2

地上アナログ/地上デジタル
の設定項目です。

地上アナログのとき
　自動チャンネル設定（13ページ）
　手動チャンネル設定（14ページ）

地上デジタルのとき
　・受信設定
　地域設定　（17ページ）
　チャンネル自動設定（18ページ）
　チャンネル追加設定　（19ページ）
　リモコン設定　（20ページ）
　チャンネルスキップ　（21ページ）
　受信レベル　（22ページ）

　・機器設定
　暗証番号　（49ページ）
　字幕・文字スーパー（45ページ）
　音声切換　（48ページ）

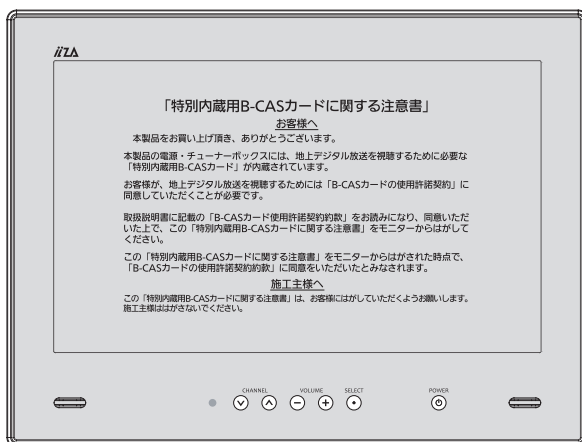
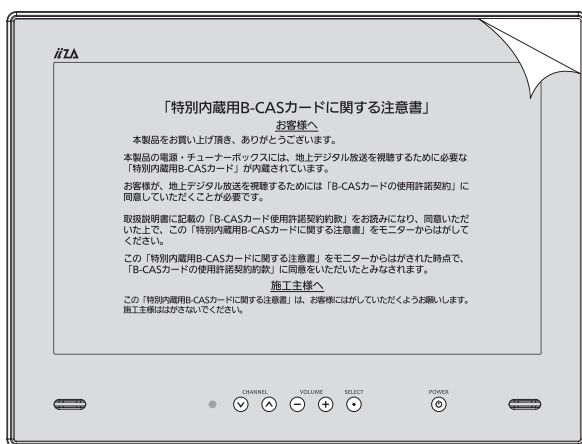
　・各種情報表示
　B-CAS情報
　バージョン情報　（50ページ）
　放送メール　（51ページ）
　・テスト
　B-CASテスト　（52ページ）
　全設定消去　（53ページ）

お知らせ

*1　地上アナログ視聴時のみ表示されます
*2　地上デジタル視聴時のみ表示されます
水色で表示されるメニュー項目は、選択できません

B-CASカード使用の同意手続き

地上デジタル放送を試聴するには、「B-CASカード使用許諾契約約款」（12ページ）をお読みになり、この約款に同意していただく必要があります。

1 モニターに貼られている、「B-CASカードに関する注意書」をよくお読みください

2 「B-CASカードに使用許諾契約約款」に同意の後、モニターに貼られている注意書きをはがしてください

お知らせ

※「B-CASカード使用許諾契約約款」は変更される場合があります。
最新版はB-CASホームページ（htp://www.b-cas.co.jp）で確認してください。

B-CASカード使用許諾契約約款（KB0007B）

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するためのICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）（以下「カード」といいます）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」といいます）が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器（社団法人電波産業会（ARIB）の技術的基準に適合した受信機器）に内蔵されます。
当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。
この約款は「特別内蔵用B-CASカード」に適用されます。

第1条（カードの使用目的）

1.このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第2条（カードの所有権と使用許諾）

1.このカードの所有権は、当社に帰属します。
2.この約款の契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第3条（カードの故障交換等）

1.カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」といいます）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。
2.当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第1条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第4条（カードの交換依頼）

1.カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第5条（契約の終了）

1.当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第6条（禁止事項）

1.第1条のカードの使用目的に反する機器（例えば著作権保護に対応していない機器）に、このカードを使用することはできません。
2.このカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
3.カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
4.カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第7条（損害賠償）

1.お客様が第6条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第8条（約款の変更）

1.この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）に掲載します。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

地上アナログ放送の設定をする

リモコンから地上アナログ放送を受信するための設定をします。
「自動チャンネル設定」「手動チャンネル設定」の2つのメニューがあります。

- 工場出荷時は、VHF1〜12チャンネルがチャンネル番号(リモコン番号)とおりに設定されています。
- 「地上アナログ設定」は地上アナログ番組を視聴中のみ表示されます。

自動チャンネル設定

自動でチャンネルサーチをして各放送局(チャンネル番号)をリモコン番号「1」〜「30」に自動的に割り当てます。

❶ メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

❷ ◎ で「地上アナログ設定」を選ぶ

地上アナログ設定メニューが表示されます。

―― 地上アナログ設定 ――
自動チャンネル設定 ▶
手動チャンネル設定 ▶

❸ ◎ で「自動チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

決定ボタンを押すと、チャンネルサーチが始まります。チャンネルサーチが終わると、「チャンネルサーチ終了」画面が表示されます。

❹ メニューボタンを押す

操作を終了します。

チャンネルサーチ終了

iZA 電源 入力切換 画面表示 オフタイマー 地上 アナログ デジタル 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 チャンネル 画面サイズ 音声切換 映像モード 消音 音量 メニュー 戻る 決定 番号入力 字幕 CH+ 電源 番組表 番組情報 CH− 外部機器 DTV01WP

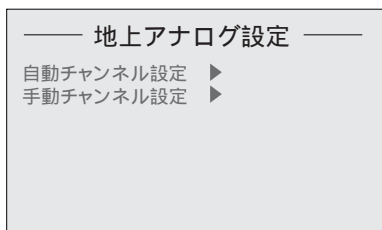
手動チャンネル設定

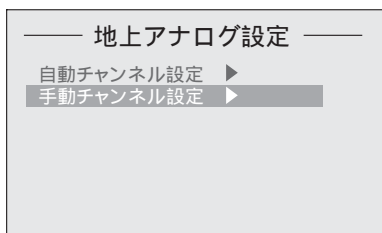
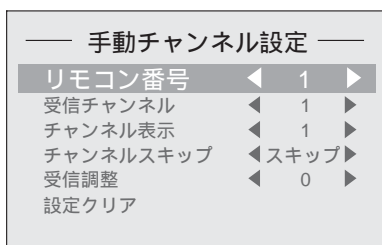
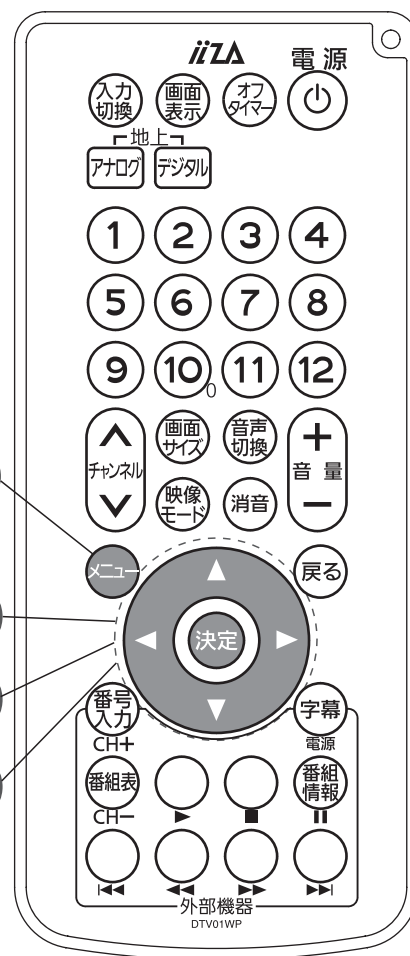
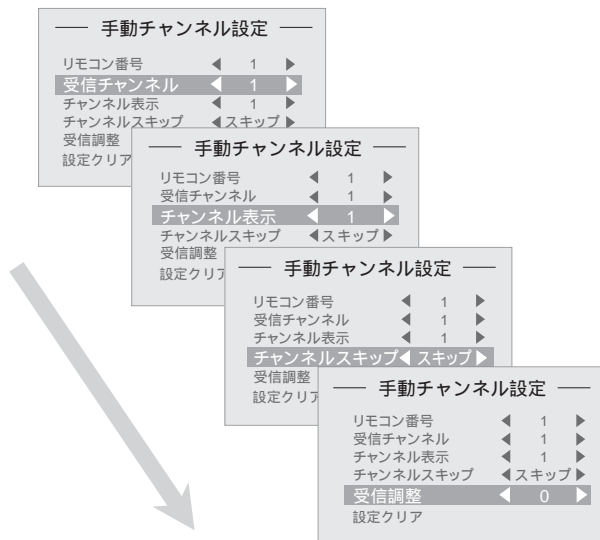
- お好みの放送局（チャンネル番号）をお好みのリモコン番号に割り当てる「受信チャンネル」
- モニターに表示されるチャンネル番号を変更する「チャンネル表示」
- チャンネルボタン「∨」／「∧」からお好みのチャンネルを順送りで選局するときに表示スキップする「チャンネルスキップ」
- 各放送局の受信状態を調整する「受信調整」の4つの設定をします。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 ◎ で「地上アナログ設定」を選ぶ

地上アナログ設定メニューが表示されます。

3 ◎ ボタンで「手動チャンネル設定」を選び決定ボタンを押す

手動チャンネル設定メニューが表示されます。

4 ◎ で「リモコン番号」を選び、◎ で設定したいチャンネル（放送局）を選択する

と、順送りで変化します。

5 で設定したい項目を選択する

6 でお好みの内容に設定する

● **受信チャンネル**
つぎのチャンネル番号をリモコン番号に割り当てることができます。
VHF/UHF:「1〜62」
CATV:「C13〜C63」

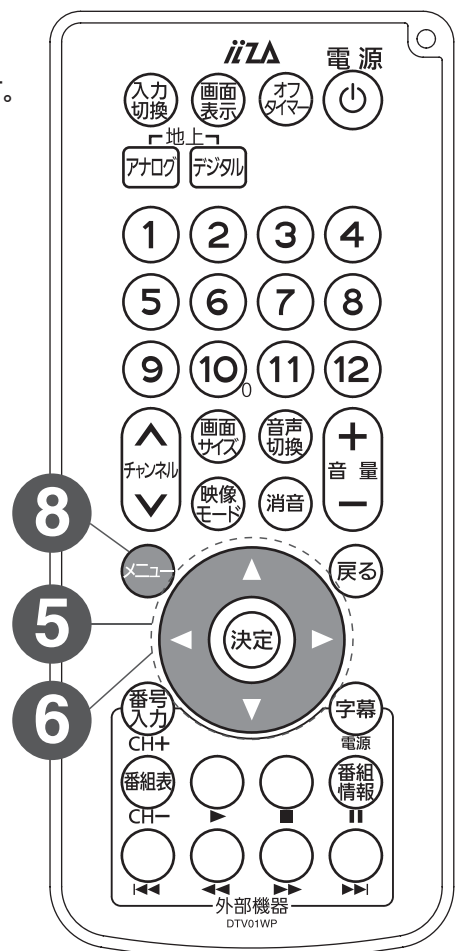
● **チャンネル表示**
モニターに表示されるチャンネル番号を変更することができます。

● **チャンネルスキップ**
「スキップ設定」を「受信」から「スキップ」に変更すると、そのチャンネルはリモコンまたはモニターのチャンネル「∧」／「∨」での選局では受信しなくなります。

● **受信調整**
お住まいの地域によっては、受信周波数を調整したほうが見やすくなる場合があります。そのような場合に調整します。

7 手順 5・6 を繰り返し、各チャンネル番号をお好みの内容に変更する

8 メニューボタンを押す

操作を終了します。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送を受信するための設定をリモコンから行います。
「地域設定」「チャンネル自動設定」「チャンネル追加設定」
「リモコン設定」「チャンネルスキップ」「受信レベル」の6つの
メニューがあります。

● はじめに、地上デジタル放送のメニュー（「地上デジタル設定」）を画面に表示させる必要があります。

地上デジタル放送のメニューを表示するには

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 ◎で「地上デジタル設定」を選ぶ

3 ◎で「設定する」を選び、決定ボタンを押す

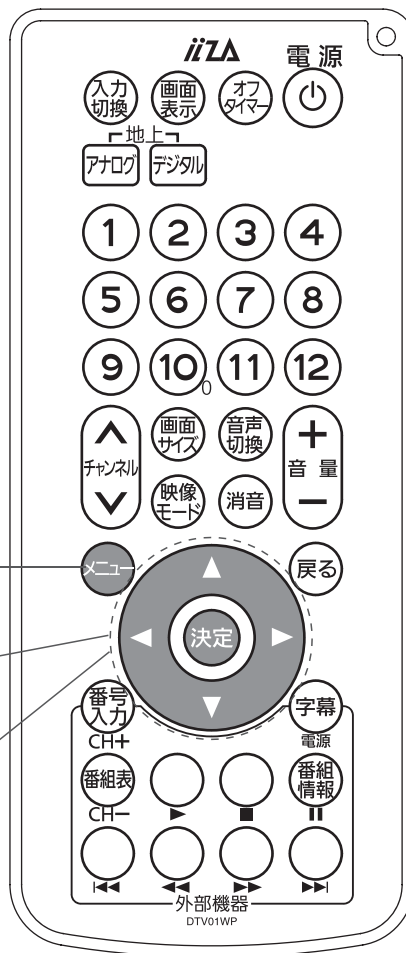
地上デジタル設定メニューが画面に表示されます。
「選択しない」を選び「決定」を押す、または
「メニュー」を押すと、メニューを終了します。

地域設定をする→17ページへ
チャンネル自動設定をする→18ページへ
チャンネル追加設定をする→19ページへ
リモコンの設定をする→20ページへ
チャンネルスキップの設定をする→21ページへ
アンテナの設定をする→22ページへ

お知らせ

※「地上デジタル設定」は地上デジタル番組を視聴中のみ表示されます。
※手順❸で「設定しない」を選択すると、地上デジタル設定メニューは表示されません。

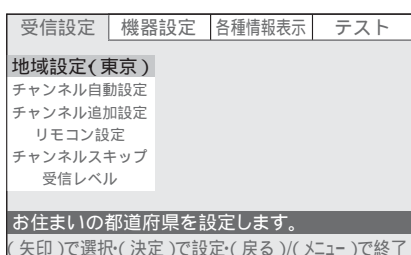
メニューの操作について

操作の途中、または操作を終了してメニューボタンを押すと、地上デジタル放送のメニューが終了します。
メニューボタンを再び押してもメニューは画面に表示されません。
メニューを画面に再表示させるには 地上デジタル放送のメニューを表示するには の手順を行う必要があります。
地上デジタル放送のメニューをまとめて設定する場合は、各機能の操作の終了後に戻るボタンを押してください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送を視聴するためにお住まいの地域の設定をします。

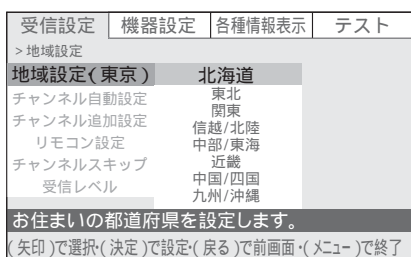
重要
※「都道府県の設定」を必ず設定してから「チャンネル自動設定」を設定してください。

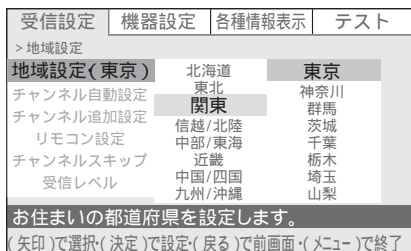
都道府県の設定

1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16ページを参照して、
メニューを表示してください。

16ページを参照して、

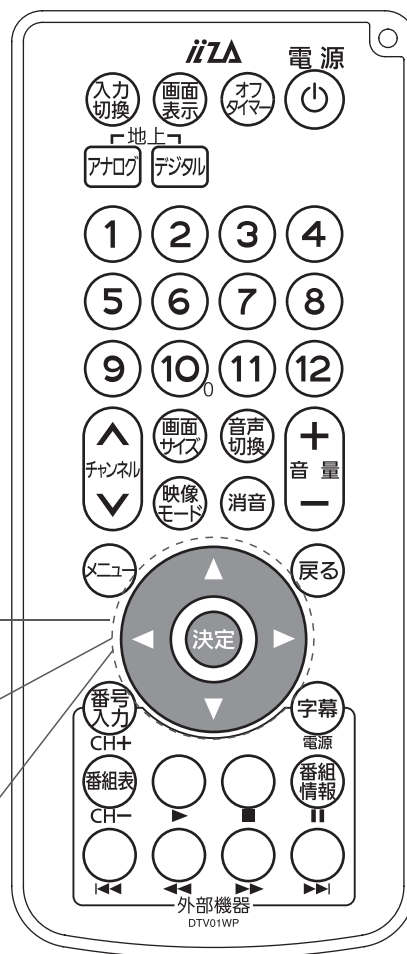
2 ボタンで「受信設定」の「地域設定」を選び、決定ボタンを押す

地域の一覧が表示されます。

3 ボタンで都道府県を選び、決定ボタンを押す

選択した地域の県または市の一覧が画面に表示されます。

「北海道」を選択した場合
→北海道の市の一覧を表示
その他の地域を選択した場合
→該当地域の県の一覧を表示

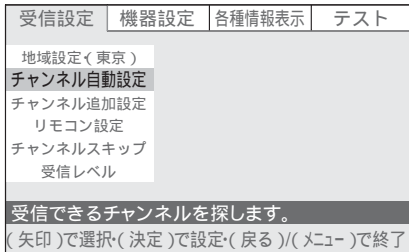
4 ボタンで県または市を選び、決定ボタンを押す

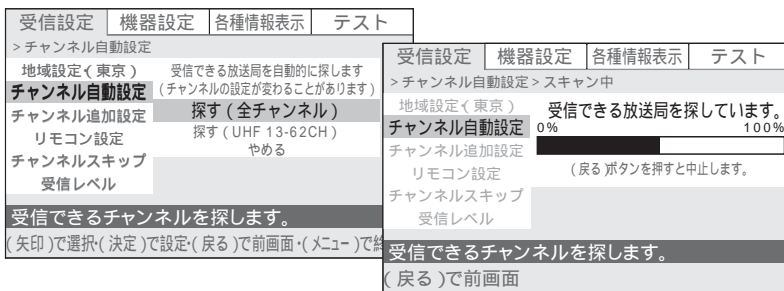
地域設定を終了します。

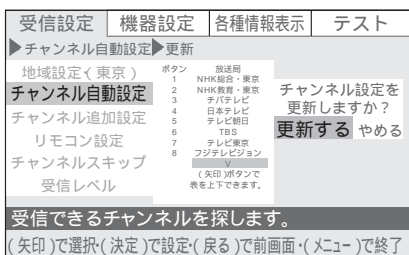
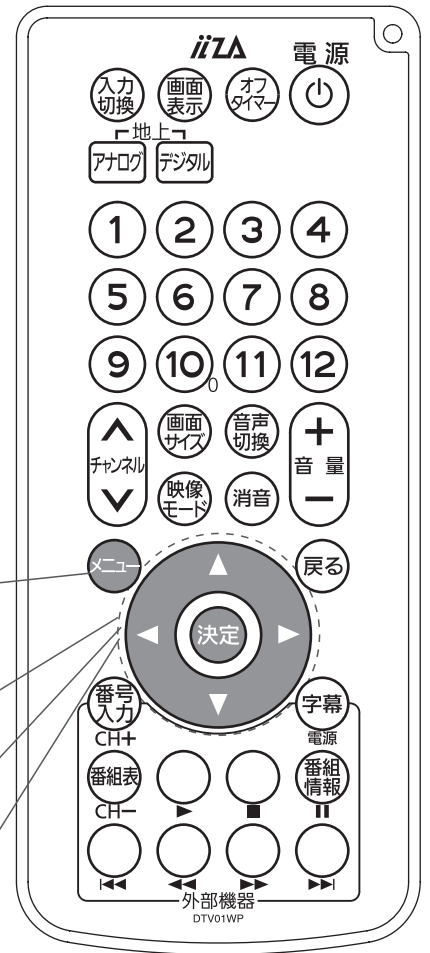
地域設定をした後、引き続き「チャンネル自動設定」(18ページ)を設定してください。

チャンネル自動設定

お住まいの地域で受信できる各放送局を自動的に検索し、視聴可能状態に設定します。

1 ボタンで「受信設定」の「チャンネル自動設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル検索画面が表示されます。

2 ボタンで「探す（全チャンネル）」を選び、決定ボタンを押す

受信できる放送局を自動的に検索し、画面に表示します。
（チャンネル番号「1」～「12」）

UHFのみを検索する場合は、 で探す（UHF　13～62CH）」を選び、「決定」を押します。

3 ボタンで「更新する」を選び、決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押す

操作を終了します。

おしらせ

※「探す（全チャンネル）では、ケーブル及びVHF,UHFを含む全てのチャンネルから受信できる放送局を検索します。
※受信できる放送局が検索されなかった場合、「受信できる放送局が見つかりませんでした。」とメッセージが表示されます。
※手順 2 で「やめる」を選択すると、チャンネルの検索をせずに「自動チャンネル設定」を終了します。
※手順 3 で「やめる」を選択すると、自動検索されたチャンネルの設定をせずに「自動チャンネル設定」を終了します。
※お住まいの地域で新しく放送が開始された場合は、「チャンネル追加設定」（19ページ）をおこなってください。

チャンネル追加設定

お住まいの地域で受信できる放送の受信状況が変わったとき
受信できる放送局を追加で設定します。

1 ボタンで「受信設定」の「チャンネル追加設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル検索画面が表示されます。

2 ボタンで「探す（全チャンネル）」を選び、決定ボタンを押す

受信できる放送局を自動的に検索し、画面に表示します。
（チャンネル番号「1」～「12」）

UHFのみを検索する場合は、 で探す（UHF 13～62CH）」を選び、決定ボタンを押します。

3 ボタンで「更新する」を選び、決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押す

操作を終了します。

リモコンの設定

各放送局をお好みのリモコン番号「1」〜「12」に割り当てます。

1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16ページを参照して、メニューを表示してください。

2 ボタンで「受信設定」の「リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す

リモコン番号(ボタン)と現在割り当てられる放送局の一覧が表示されます。

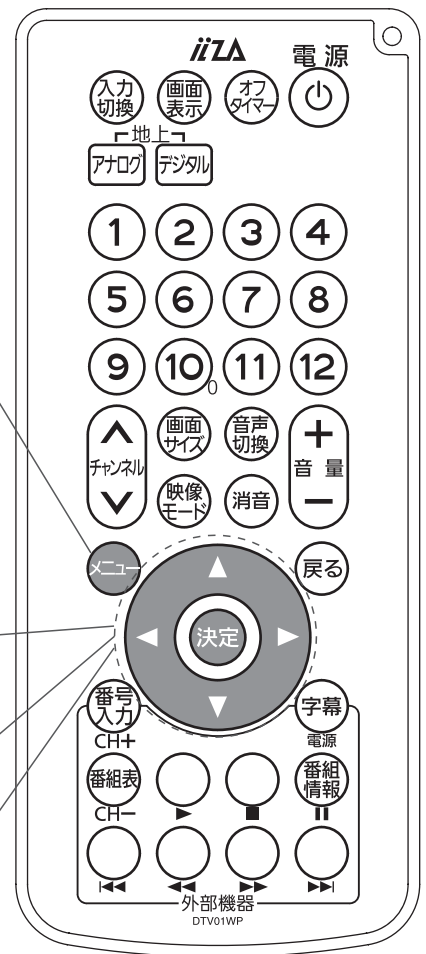
3 ボタンでリモコン番号(ボタン)を選び、決定ボタンを押す

決定ボタンを押すと、放送局の選択画面が表示されます。

4 で放送局を選び、決定ボタンを押す

5 手順3・4を繰り返し、各放送局をお好みのリモコン番号(ボタン)に割り当てる

6 メニューボタンを押す

操作を終了します

お知らせ

※受信できる放送局が設定されていない場合、「受信できる放送局が見つかりません。チャンネル自動設定をやり直して下さい」とメッセージが表示されます。

※ひとつの放送局を複数のリモコン番号に割り当てた場合、リモコンのチャンネルボタン「∧」/「∨」での選局時に表示されるチャンネル番号は、数字の大きい番号が優先されます。

※「チャンネル自動設定」または「チャンネル追加設定」にて設定された放送局をリモコン番号に割り当てない場合は、そのチャンネル番号は「−−」と画面に表示されます。

チャンネルスキップの設定

リモコンまたはテレビ本体のチャンネルボタン「∧」／「∨」からお好みのチャンネルを順送りで選局するときに、表示スキップする放送局を設定します。

1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16ページを参照して、メニューを表示してください。

2 ボタンで「受信設定」の「チャンネルスキップ」を選び、決定ボタンを押す

「決定」を押すと、放送局の選択画面が表示されます。

3 ボタンでスキップする放送局を選択し、決定ボタンを押す

スキップ設定した放送局は、チェックボックスにマークされます。

4 手順❸を繰り返し、スキップする放送局を選ぶ

5 メニューボタンを押す

操作を終了します。

お知らせ

※スキップ設定した放送局は、番組表に表示されなくなります。
※スキップ設定した放送局は、「1」～「12」のリモコン番号（ボタン）でも選局できなくなります。
※全ての放送局をスキップにした場合は、「全てのチャンネルがスキップ設定されています」とメッセージが表示されます。

アンテナの設定（受信レベル）

各放送局のアンテナの受信レベル（電波の強さ）を確認します。
受信状態が不安定な場合に受信状況を確認することができます。

1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16ページを参照して、メニューを表示してください。

2 ボタンで「受信設定」の「受信レベル」を選び、決定ボタンを押す

チャンネルの一覧が表示されます。

3 ボタンで受信レベルを確認したいチャンネル番号を選択し、決定ボタンを押す

- **物理チャンネル番号（23ページの「おしらせ」参照）を入力して確認する場合**
  ▼で一番下に表示されている「物理CH指定」を選択し、「1」～「62」のチャンネル番号を入力します。
- **CATV放送を入力する場合**
  リモコン番号「11」を押してから、該当するチャンネル番号を入力します。

お知らせ

※手順❸で「物理CH指定」にて入力された番号が「0」または「63」以上の場合、「使えないチャンネル番号です」とメッセージが表示されます。

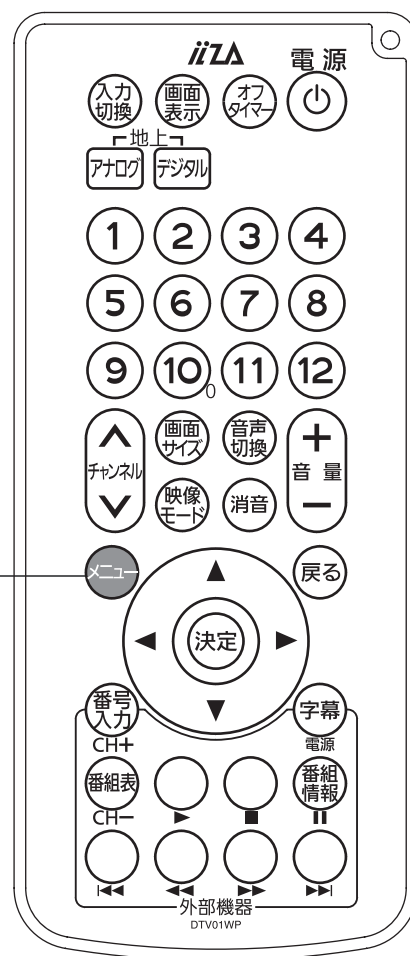
アンテナの設定（受信レベル）つづき

画面に表示される受信レベルを確認する

- 緑色→正常に映る受信レベル（60～100%）
- 黄色→映像が乱れる場合がある受信レベル（40～59%）
- 赤色→映像が正常に映りにくい受信レベル（0～39%）

5

メニューボタンを押す

操作を終了します。

お願い

※受信レベルは電波の強さを表します。
地上デジタル放送は、電波の強さと品質でテレビ画像の映りが変わるため、受信レベルが緑色（60%以上）であっても良好な画質が得られない場合があります。その場合は、お近くの電気店とご相談して、アンテナの向きを地上デジタル放送の電波塔の方向に変更するなどの調整をしてください。

お知らせ

※物理チャンネルについて（地上波）
地上デジタル放送は、UHFの電波を使用して各放送局より送信されています。13～62までのチャンネル番号が各放送局に割り当てられており、このチャンネル番号を物理チャンネルといいます。

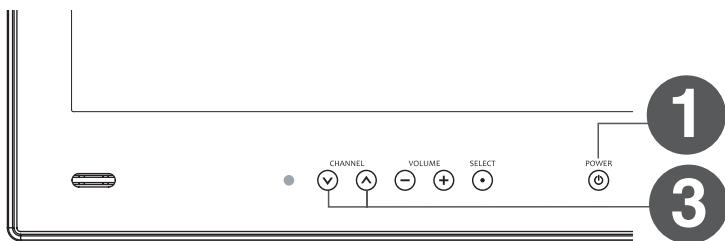
※ケーブルテレビにご加入のお客様へ
- 本機は、同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応しております。「受信レベル」で「物理CH指定」を選択して受信レベルを確認する場合は、入力できるチャンネル番号は「13」～「63」となります。
- 同一周波数パススルー方式の場合は、地上波を選択してCATV放送の受信レベルを確認してください。
入力できるチャンネル番号は「13」～「62」となります。

テレビを見る

ふだんの使いかた

1 電源を入れる

押すたびに電源を「入」・「切」します。

電源が入ると、モニター操作キーが点灯します。

2 放送を選ぶ

地上アナログボタンまたは地上デジタルボタンを押します。

入力を切換える

入力切換ボタンを押して入力モードを選択します。

3 各ボタンを押し、チャンネルを選ぶ

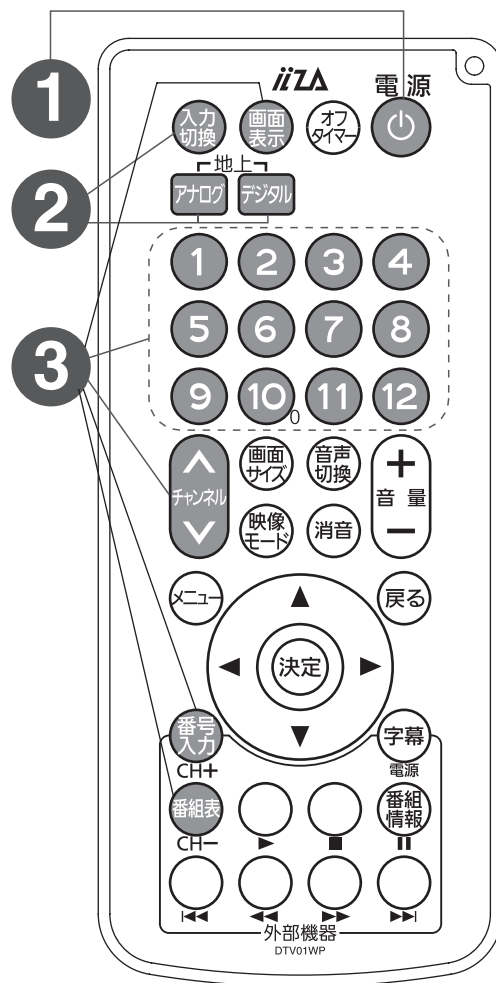
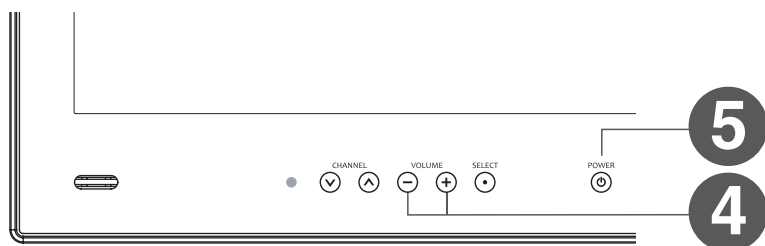
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ボタンで選ぶ → リモコン番号「1」〜「12」

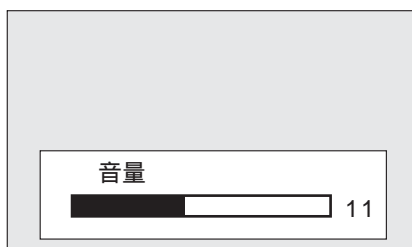
チャンネル 順送りで選ぶ → チャンネル「∧」/「∨」
（モニター操作キーでもできます）
地上アナログで放映されているケーブル番組も
順送りで選局します。（C13〜C63）

番号入力 3桁チャンネル番号を入力して選ぶ
（「地上デジタル」での操作となります（43ページ参照））

番組表 デジタル放送の電子番組表（EPG）を見る
番組表ボタンを押します。もう一度押すと、表示が消えます。

画面表示 チャンネルの表示をする
画面表示ボタンを押します。選択中のチャンネル番号または
外部入力モードが画面右上に表示されます。

はじめに
ご使用の前に
準備編
操作編
必要なとき

4 音量を調整する

音量バーが表示され、「+」／「−」で音量を調整します。
（モニター操作キーでもできます）

音量バーが表示されます。

● **音を一時的に消すには**
消音ボタンを押すか、音量ボタンで調整します。

5 電源を切る

押すたびに電源を「入」・「切」します。

電源が切れると、モニター操作キーが消灯します。

おしらせ

※電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶されます。
工場出荷時は、地上アナログのVHF 1チャンネルを受信するように設定されています。

画面サイズを切換える

リモコンから、画面サイズを切換えます。

1 画面サイズボタンを押す

選択できる画面サイズのリストが表示されます。

2 画面サイズボタンまたは ◎ でお好みの画像サイズを選ぶ

選択できる画面サイズは、映像信号の種類によって異なります。

地上アナログ放送、ビデオ
ノーマル 通常のテレビ画面（4:3）サイズをそのまま表示
フ　ル 画面いっぱいに映像を拡大（横長の映像）
ズーム 映画（シネスコまたは16:9サイズ）を画面いっぱいに拡大
パノラマ 違和感のない映像に拡大
「ノーマル」→「フル」→「ズーム」→「パノラマ」

地上デジタル放送
ノーマル 通常のテレビ画面（16:9）サイズをそのまま表示
ワイド ハイビジョン映像の画面中央部分（4:3）を画面いっぱいに拡大（横長の映像）
ズーム 映画（シネスコまたは16:9サイズ）を画面いっぱいに拡大
「ノーマル」→「ワイド」→「ズーム」

iiZA 電源 入力切換 画面表示 オフタイマー 地上 アナログ デジタル 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 0 11 12 チャンネル 画面サイズ 音声切換 音量 映像モード 消音 メニュー 戻る 決定 番号入力 字幕 CH+ 電源 番組表 番組情報 CH− 外部機器 DTV01WP

お知らせ

※入力信号により、選択できる画面サイズが異なります。
※本機の画面サイズ切換え機能を使う場合、テレビ番組やビデオソフトなどのオリジナル映像の比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
※テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズ切換え機能を利用して、画像の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
※ワイド映像でない通常(4:3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺映像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、画面サイズを「ノーマル」にしてください。

お好みの映像に調整する

リモコンから、映像をお好みの状態に調整します。

映像モードを選ぶ

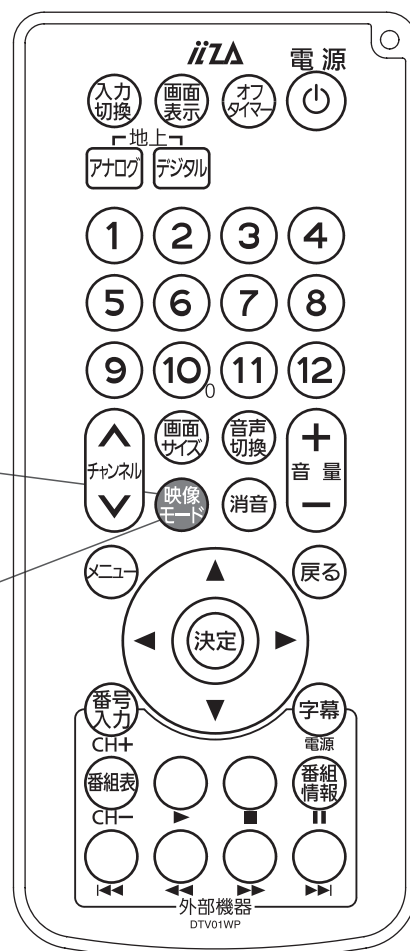
部屋の明るさや再生ソフトの内容にあわせて、映像モードを切換えます。

1 映像モードボタンを押す

現在の映像モードが表示されます。

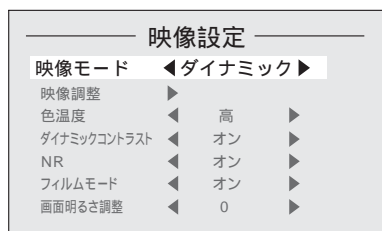
2 映像モードボタンを押してお好みの映像モードを選ぶ

「ダイナミック」： スポーツ番組などを迫力にあふれた、くっきりと色鮮やかな映像に（工場出荷時の設定）
「スタンダード」： 標準値の画質の映像に
「シネマ」： 映画などの暗い画面を見やすく、コントラスト感を抑えた映像に
「ユーザー」： お好みの調整内容を記憶

※「ダイナミック」→「スタンダード」→「シネマ」→「ユーザー」で切換わります。

メニューから映像モードを選ぶ

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 で「映像設定」の「映像モード」を選ぶ

3 決定ボタンまたは を押してお好みの映像モードを選ぶ

※「ダイナミック」↔「スタンダード」↔「シネマ」↔「ユーザー」で切換わります。

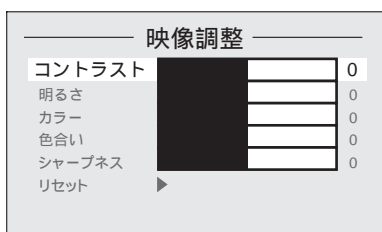
4 メニューボタンを押す

操作を終了します。

画質をお好みで調整する

映像モードで「ユーザー」を選択すると、映像の濃淡や明るさ、色合いなどをお好みに調整できます。

1 メニューボタンを押し、◎ボタンで、「映像設定」の「映像調整」を選び、決定ボタンを押す

2 ◎ボタンで調整したい項目を選び、決定ボタンを押す

3 ◎ボタンでお好みの状態にし、決定ボタンを押す

調整バーが表示されます。
▶：＋方向に調整
◀：－方向に調整

項　目	調整内容
コントラスト	映像のコントラスト －暗くしっとりと ⇔ 明るくメリハリのある＋
明るさ	映像の明るさ －暗い ⇔ 明るい＋
カラー	映像の色の濃さ －薄い ⇔ 濃い＋
色合い	映像の色合い 紫がかった肌色に ⇔ 緑がかった肌色に
シャープネス	映像の鮮鋭度 －輪郭がやわらかに ⇔ 輪郭がはっきりと＋

4 メニューボタンを押す

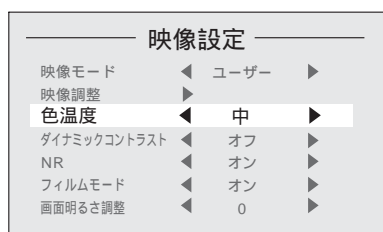
操作を終了します。

工場出荷時の設定にもどすには

1 「映像調整」で「リセット」を選択し、決定ボタンを押す

色温度を調整する

映像の色温度をお好みの状態に調整します。

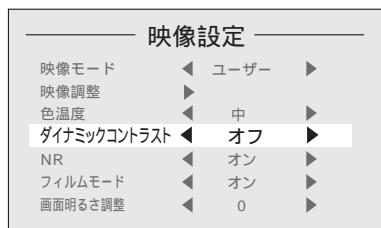
1 **メニューボタンを押し、◎で「映像設定」の「色温度設定」を選び、決定ボタンまたは◎を押す**

「高」:青みがかった白に
「中」: 標準値の白に(工場出荷時の設定)
「低」: 赤みがかった白に

2 **メニューボタンを押す**

操作を終了します。

ダイナミックコントラスト機能を設定する

映像シーンごとに、奥行き感(コントラスト)を自動的に変化させます。

1 **メニューボタンを押し、◎で「映像設定」の「ダイナミックコントラスト」を選び、決定ボタンまたは◎を押す**

「オフ」:この機能を使わない(工場出荷時の設定)
「オン」:この機能を使う

2 **メニューボタンを押す**

操作を終了します。

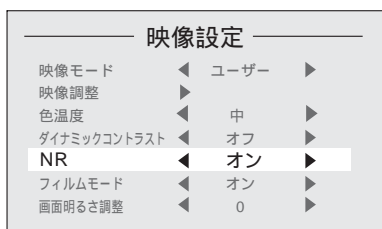
おしらせ

※映像モードが「ダイナミック」、「スタンダード」または「シネマ」になっているときには操作できません。

次の機能はすべての映像モードで調整できます。

映像をすっきり見る

映像のノイズを軽減し、すっきりさせます。

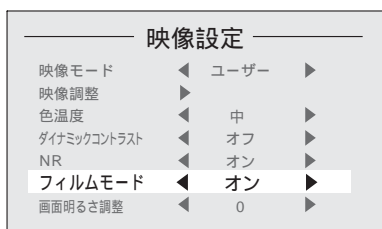
1 メニューボタンを押し、◎で「映像設定」の「NR」を選び、決定ボタンまたは◎を押す

「オン」:効果あり（工場出荷時の設定）
「オフ」:効果なし

2 メニューボタンを押す

操作を終了します。

フィルム映像を忠実に再現する

映画など毎秒24コマのフィルム撮影された映像が2-3、2-2プルダウン処理（テレシネ変換）されていることを検出し、適切な処理をすることによってオリジナル映像を忠実に再生します。

1 メニューボタンを押し、◎で「映像設定」の「フィルムモード」を選び、決定ボタンまたは◎を押す

「オン」:テレシネ変換されている映像に適切な処理をする（工場出荷時の設定）
「オフ」:テレシネ変換されている映像に適切な処理をしない

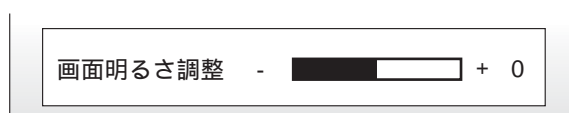
2 メニューボタンを押す

操作を終了します。

画面の取付位置に合わせた明るさにする

浴槽内からテレビを見る角度に合わせて、画面を見えやすい明るさに調整できます。

1 メニューボタンを押し、◎ボタンで「映像設定」の「画面明るさ調整」を選び、決定ボタンまたは◎を押す

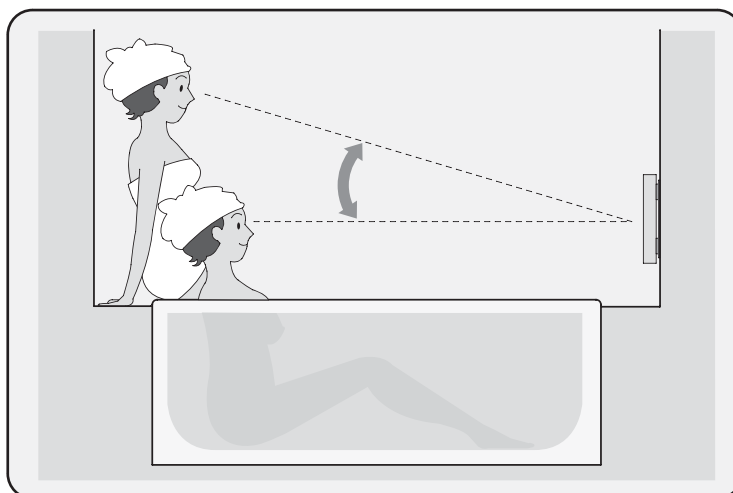
2 ◎ボタンでお好みの状態にし、決定ボタンを押す

調整バーが表示されます。
▶：上方向に調整
◀：下方向に調整

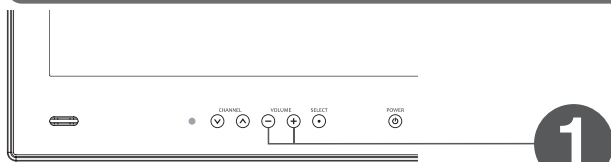
3 メニューボタンを押す

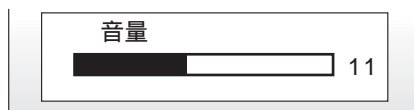
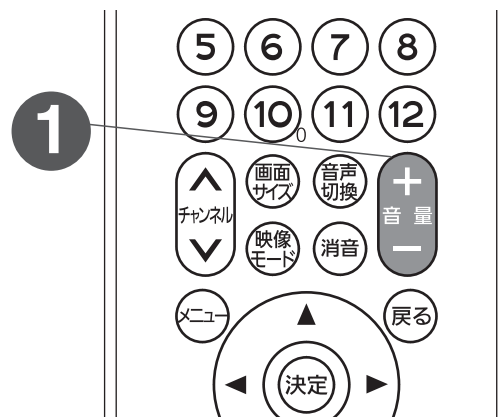
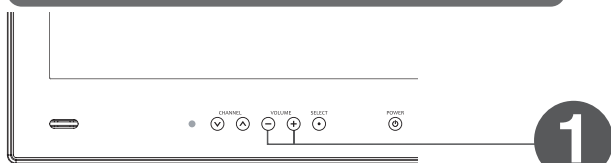
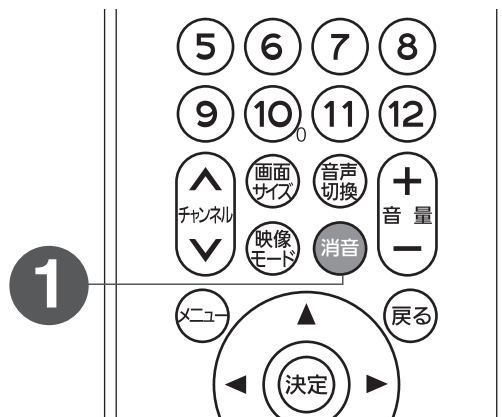
操作を終了します。

（参考　イラスト）

■画面を上から見降ろす感じのとき
➡「－」の方向に調整します。

■画面を下から見上げる感じのとき
➡「＋」の方向に調整します。

お好みの音声に調整する

スピーカーの音量を調整する

1 音量ボタンを押す

音量バーが表示されます。

「＋」→音量が大きくなります
「－」→音量が小さくなります

音を一時的に消すには

1 消音ボタンを押すか、音量ボタンで調整する

お知らせ

※音量は、モニター操作キーの音量ボタン＋・－でも調整できます。

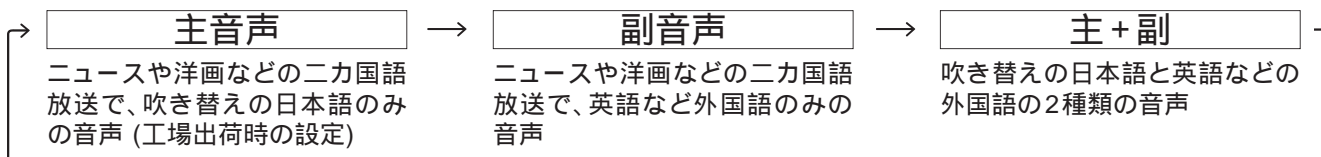
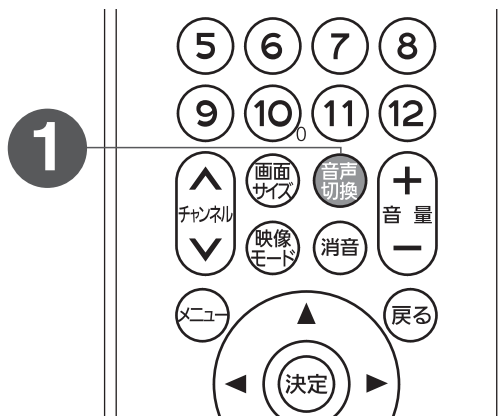
音声を切換える（二重音声放送）

二重音声放送のとき、音声モードを切換えます。

1 音声切換ボタンを押す

ボタンを押すたびに、次のように切換わります。

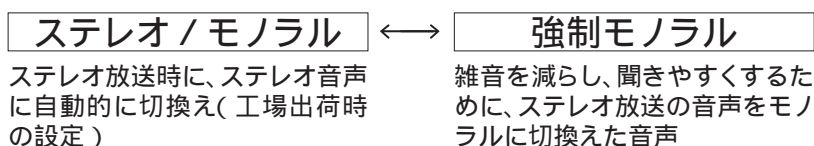
主音声 → **副音声** → **主＋副**

- **主音声**：ニュースや洋画などの二カ国語放送で、吹き替えの日本語のみの音声 (工場出荷時の設定)
- **副音声**：ニュースや洋画などの二カ国語放送で、英語など外国語のみの音声
- **主＋副**：吹き替えの日本語と英語などの外国語の2種類の音声

音声を切換える（強制モノラル設定）

ステレオまたはモノラル音声放送のとき、音声モードを切換えます。

1 音声切換ボタンを押す

ボタンを押すたびに次のように切換わります。

ステレオ／モノラル	⟷	強制モノラル
ステレオ放送時に、ステレオ音声に自動的に切換え（工場出荷時の設定）		雑音を減らし、聞きやすくするために、ステレオ放送の音声をモノラルに切換えた音声

お知らせ

※「強制モノラル」に設定されている場合、ステレオ音声放送時であっても画面右上に「モノラル」とバナー表示されます。
※地上デジタル番組を視聴中は操作できません。

音声モードを選ぶ

1 メニューボタンを押し、◁○▷ ボタンで「音声設定」を選ぶ

2 △○▽ ボタンで「音声モード」を選び、決定ボタンまたは ◁○▷ でお好みの音声モードを選ぶ

「ダイナミック」：　メリハリのある音声に　（工場出荷時の設定）
「スタンダード」：　標準値の音声の設定
「ユーザー」：　お好みの調整内容を記憶

※「ダイナミック」⇔「スタンダード」⇔「ユーザー」 で切換わります。

3 メニューボタンを押す

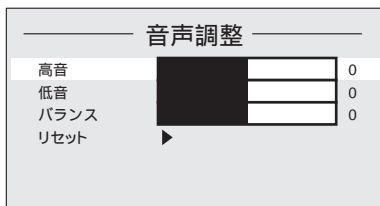
操作を終了します。

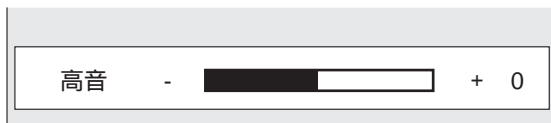
お好みの音声に調整する〈「高音」「低音」「バランス」〉

音声モード「ユーザー」を選択すると、音声をお好みの状態に調整できます。

1 メニューボタンを押し、◎ ボタンで「音声設定」を選ぶ

2 ◎ ボタンで「音声調整」を選び、決定ボタンまたは ◎ を押す

3 ◎ ボタンで調整したい項目を選び、決定ボタンまたは ◎ を押す

項　目	調整内容
高音	高音を重視した音声に
低音	低音を重視した音声に
バランス	スピーカーの 左右の音量を調整

4 ◎ ボタンでお好みの状態にし、決定ボタンを押す

調整バーが表示されます。
▶：＋（R）方向に調整
◀：−（L）方向に調整
（工場出荷時の設定は「0」）

5 メニューボタンを押す

操作を終了します。

※工場出荷時の設定にもどすには「リセット」を選択し、
決定ボタンまたは ◎ を押します。

お知らせ
※音声モードが「ダイナミック」または「スタンダード」になっているときには操作できません。

お好みの音声に調整する〈サラウンド〉

ステレオ放送時に広がりのある音声に切換えます。

1 メニューボタンを押し、◎ボタンを押して「音声設定」を選ぶ

2 ◎ ボタンで「サラウンド」を選び、決定ボタンまたは◎を押す

「オフ」： サラウンド機能を使わない （工場出荷時の設定）
「オン」： サラウンド機能を使う

3 メニューボタンを押す

操作を終了します。

音声出力の設定

浴室テレビの内蔵スピーカーまたは浴室テレビの音声を外部スピーカーで楽しむ場合の音声出力の設定を行います。

1 メニューボタンを押し、◎ボタンを押して「音声設定」を選ぶ

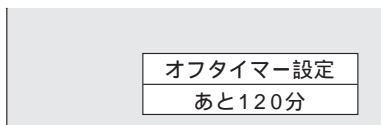
2 ◎ ボタンで「音声出力設定」を選び、決定ボタンまたは◎を押す

「スピーカー／外部」： 内蔵スピーカー、外部スピーカーの両方から音声出力する（工場出荷時の設定）
「スピーカー」： 内蔵スピーカーのみ
「外部」： 外部スピーカーのみ

3 メニューボタンを押す

操作を終了します。

電源オフする時間を設定

1 オフタイマーボタンを押す

オフタイマー設定
あと120分

すでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
設定されていないときは、「オフ」と表示されます。

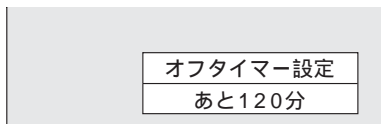
2 もう一度オフタイマーボタンを押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

→「あと120分」→「あと110分」
→ ････ →「あと10分」→「オフ」

と、押す度に切換わります。
残り時間の表示が出ている間に操作を行ってください。
※電源オン時の設定は「あと120分」です。

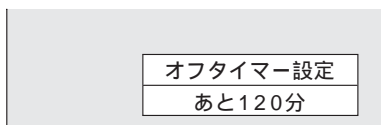
オフタイマーの残りの時間を見るには

1 オフタイマーボタンを押す

残り時間が表示されます。

オフタイマー設定
あと120分

オフタイマーを再設定するには

1 オフタイマーボタンを押す

残り時間が表示されます。

オフタイマー設定
あと120分

2 もう一度オフタイマーボタンを押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

残り時間に一番近い時間から順に表示されます。
残り時間の表示が出ている間に操作を行ってください。

1

iiZA 電源
入力切換 画面表示 オフタイマー
地上 アナログ デジタル
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
画面サイズ 音声切換 チャンネル 音量 映像モード 消音
メニュー 戻る 決定
番号入力 CH+ 字幕 電源 番組表 CH− 番組情報
外部機器
DTV01WP

お知らせ

※オフタイマーの動作中に本機の電源オフにすると、オフタイマーの残り時間はクリアされます。
　オフ状態のときは、電源ランプが消灯します。
※残り時間の約1分前から、「オフタイマー　あと1分未満」とメッセージが表示されます。

その他の設定をする

入力機器になまえをつける

ビデオ、DVDプレイヤーなど、本機と接続している外部機器に特定のなまえを設定します。

1 **メニューボタンを押し、 で「その他の設定」を選び、 で「外部入力機器名 設定」を選択し、決定ボタンを押す**

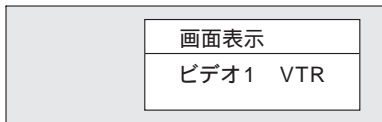
2 **で設定したい入力を選び、決定ボタンまたは を押す**

「DVD」、「ブルーレイ」、「HDD」、「VTR」、「BS／CS」、「CATV」、「表示しない」から選びます。
※工場出荷時の設定は「表示しない」です

3 **メニューボタンを押して、操作を終了する**

バナー表示に選択したなまえがでます。

例:「ビデオ1」に「VTR」を選んだ場合。

画面表示
ビデオ1　VTR

スキップする放送／入力を設定する

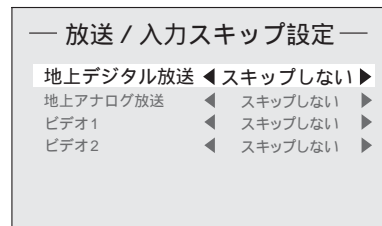
スキップする放送、入力を設定します。

1 **メニューボタンを押し、 で「その他の設定」を選び、 で「放送／入力スキップ設定」を選択し、決定ボタンを押す**

2 **でスキップしたい放送または入力を選び、決定ボタンまたは を押す**

「地上デジタル放送」、「地上アナログ放送」、「ビデオ1」、「ビデオ2」から選びます。
※工場出荷時の設定は、「スキップしない」です。

3 **メニューボタンを押す**

操作を終了します。

お知らせ
※3つまでの放送／入力をスキップすることができます。

OSDの表示を透過させる

OSDを半透明に切換えます。

1 メニューボタンを押し、 ボタンを押して「その他の設定」を選ぶ

2 ボタンで「OSD設定」を選び、決定ボタンまたは を押す

3 ボタンで「OSD透過設定」を選び、決定ボタンまたは を押す

「透過しない」： OSDの下の映像が見えない状態 （工場出荷時の設定）
「透過する」： OSDの下の映像が見える状態

4 メニューボタンを押す

操作を終了します。

OSDの表示サイズを設定する

OSDのサイズを切換えます。

1 メニューボタンを押し、 ボタンを押して「その他の設定」を選ぶ

2 ボタンで「OSD設定」を選び、決定ボタンまたは を押す

3 ボタンで「OSDサイズ設定」を選び、決定ボタンまたは を押す

「小」： OSDのサイズが小さい状態 （工場出荷時の設定）
「大」： OSDのサイズが大きい状態

4 メニューボタンを押す

操作を終了します。

モニター操作キーの感度を設定する

1 メニューボタンを押し、◎ボタンを押して「その他の設定」を選ぶ

2 ◎ボタンで「タッチキー設定」を選び、決定ボタンまたは◎を押す

3 ◎ボタンで「タッチ感度」を選び、◎でお好みの設定にする

低2 ⇔ 低1 ⇔ 標準 ⇔ 高1 ⇔ 高2

（感度） 低い ←→ 高い

※工場出荷時の設定は「標準」

4 メニューボタンを押す

操作を終了します。

お知らせ

※この設定を高くすると、軽くふれるだけで反応するようになっていきますが、シャワーの水がかかったりした場合には、キーが反応することがあります。

※シャンプーや石鹸などが付いた手で操作しないでください。モニター操作キーが反応しない場合があります。もし、モニター操作キー付近にシャンプー、石鹸や洗剤などが付いてしまった場合は、すぐに水で洗い流し、表面に洗剤成分が残らないようにしてください。

⚠ 注意

お手入れ

水で薄めた浴室用中性洗剤を使用してお手入れした場合には、表面に洗剤成分が残らないよう、きれいに拭き取ってください。洗剤成分はセンサーに悪影響を与えます。

モニター操作キーの操作音の大きさを設定する

1 メニューボタンを押し、◎ ボタンを押して「その他の設定」を選ぶ

2 ◎ ボタンで「タッチキー設定」を選び、決定ボタンまたは ◎ を押す

3 ◎ ボタンで「キー操作音」を選び、◎ でお好みの設定にする

「オフ」: キー操作時に音がしない状態
「小」: キー操作時に小さく音がする状態 （工場出荷時の設定）
「大」: キー操作時に大きい音がする状態

4 メニューボタンを押す

操作を終了します。

モニター操作キーで操作できないようにする

いたずら操作防止のためにモニター操作キーを無効にして、リモコンのみで操作する設定にすることができます。

1 メニューボタンを押し、◎ ボタンを押して「その他の設定」を選ぶ

2 ◎ ボタンで「タッチキー設定」を選び、決定ボタンまたは ◎ を押す

3 ◎ ボタンで「タッチキーロック」を選び、決定ボタンまたは ◎ を押す

「ロックしない」: キー操作ができる状態 （工場出荷時の設定）
「ロックする」: キー操作ができない状態

4 メニューボタンを押す

操作を終了します。

省エネ機能を使う

リモコンから、本機の省エネ機能を設定します。

バックライトを調整する

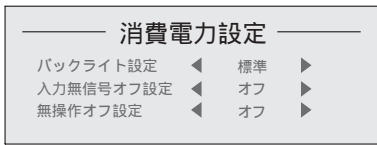
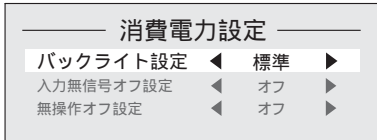
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 を押し、「消費電力設定」を選ぶ

消費電力設定		
バックライト設定	標準	
入力無信号オフ設定	オフ	
無操作オフ設定	オフ	

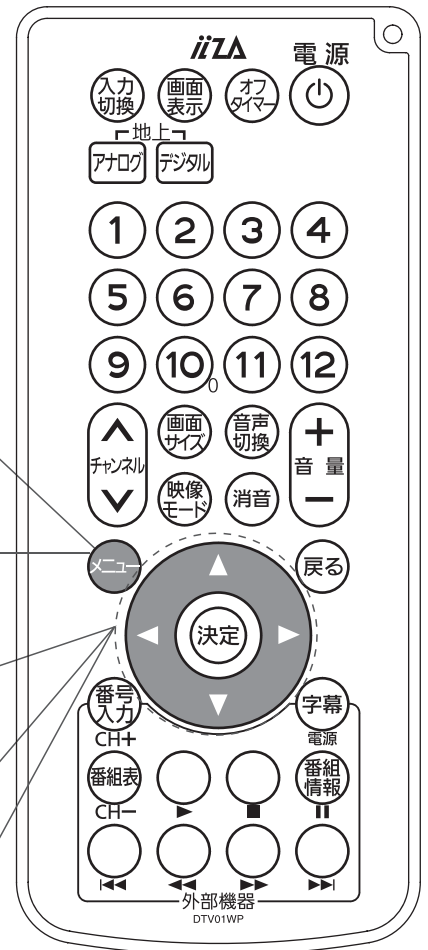
3 ボタンで「バックライト設定」を選ぶ

消費電力設定	
バックライト設定	標準
入力無信号オフ設定	オフ
無操作オフ設定	オフ

4 ボタンでお好みの設定を選ぶ

バックライト設定	画面の明るさ	消費電力
標準	明るい	大きい
節約モード1	少し暗い	少し小さい
節約モード2	暗い	小さい

※工場出荷時の設定は［標準］です。

5 メニューボタンを押す

操作を終了します。

本機では、「入力無信号オフ設定」、「無操作オフ設定」の2つのオフタイマー機能を備えています。

入力無信号オフ設定

放送が終了したり、ビデオの再生が終了するなど、無信号状態になると約15分後に電源がオフ状態に移行します。

1 メニューボタンを押し、 で「消費電力設定」を選び、 で「入力無信号オフ設定」を選択し、決定ボタンまたは を押す

「オン」:設定を実行する
「オフ」:設定を実行しない（工場出荷時の設定）

2 メニューボタンを押す

操作を終了します。

お知らせ

※受信状況によっては、電源が切れない場合があります。

無操作オフ設定

操作しない状態が3時間以上経過すると電源がオフ状態に移行します。

1 メニューボタンを押し、◁○▷ で「消費電力設定」を選び、△○▽ で「無操作オフ設定」を選択し、決定ボタンまたは ◁○▷ を押す

「オン」:設定を実行する
「オフ」:設定を実行しない(工場出荷時の設定)

2 メニューボタンを押す

操作を終了します。

お知らせ

※残り時間の約1分前から、「オフタイマーあと1分未満」とメッセージが表示されます。

設定を初期化する

リモコンの「メニュー」から設定する「映像設定」「音声設定」「その他の設定」「消費電力設定」「地上アナログ設定」の設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。

※地上デジタル放送の機能の設定・初期化は、「地上デジタル設定」で行います。(53ページ)
※「地上アナログ設定」については、13ページをご覧ください。

1 メニューボタンを押し、◁○▷ で「その他の設定」を選び、△○▽ で「設定の初期化」を選択し、決定ボタンまたは ○▷ を押す

2 △○▽ で「初期化する」を選び、決定ボタンまたは ○▷ を押す

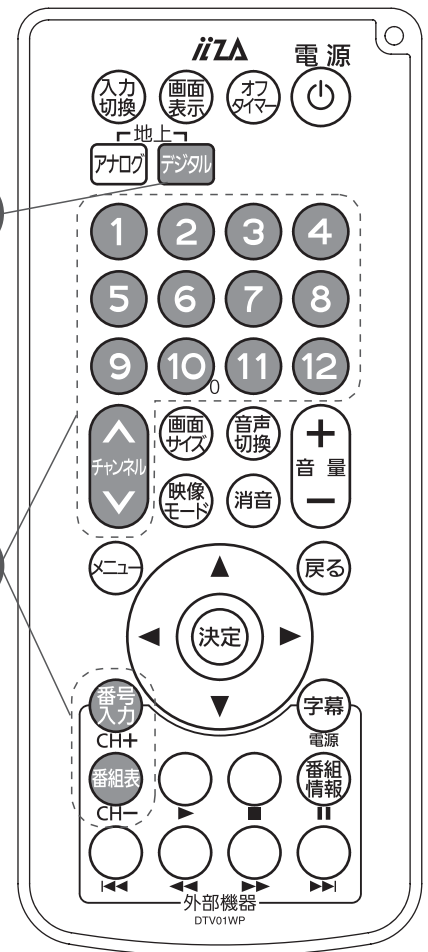
「映像設定」「音声設定」「その他の設定」「消費電力設定」「地上アナログ設定」の設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

お知らせ

※手順 ❷ で「初期化しない」を選択すると、初期化を実行せずに「設定の初期化」を終了します。

はじめに
ご使用の前に
準備編
操作編
必要なとき

デジタル放送の機能と設定

放送・番組の選択手順

1 地上デジタルボタンを押す

2 各ボタンを押し、チャンネルを選ぶ

チャンネルの選局方法は、つぎの3種類があります。

ボタンで選ぶ → リモコン番号「1」〜「12」

リモコンのボタンには、各放送局のチャンネルが割り当てられています。ワンタッチでお好みの番組を選局します。

順送りで選ぶ → チャンネル「∧」/「∨」

リモコンのチャンネル∧∨を押すたびに、お好みのチャンネルを順送りに選局します。
（モニター操作キーでもできます）

∧：＋順にチャンネルが切換わります。
∨：ー順にチャンネルが切換わります。

3桁チャンネル番号を入力して選ぶ

リモコンのボタンを使って、視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局します。

①番号入力ボタンを押す
画面右上にチャンネル番号が表示されます。

②チャンネル番号を入力し、選局する
リモコン番号「1」から「10/0」を使って番号を入力します。
3桁の100の位から番号が入力されます。

番組表から選ぶ

番組表から選択したチャンネルを選局します。（44ページ）

お知らせ

つぎの状態で入力されたチャンネルは受信できません。
※黒画面でメッセージが表示されているとき
※入力したチャンネルが無信号のとき
※地上デジタル放送の「チャンネル自動設定」または「チャンネル追加設定」が行われていないとき
（設定方法は18、19ページ参照）

電子番組表（EPG）を使う

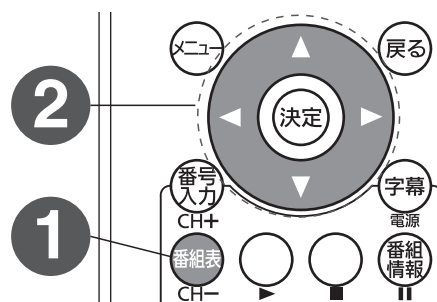
番組表を見る

デジタル放送では、リモコンから電子番組表（EPG）を表示して番組情報を見たり、チャンネルを選ぶことができます。

1 番組表ボタンを押す

現在の時刻から3時間先（合計4時間）までの番組が表示されます。

2 でお好みの番組を選ぶ

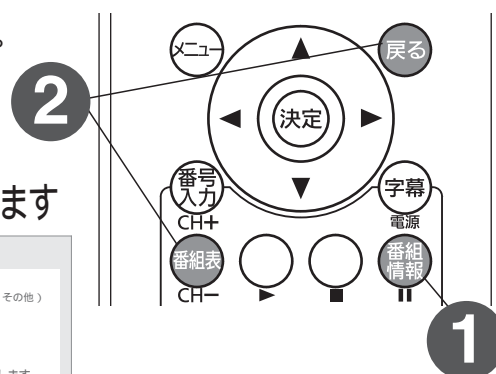
最大48時間先までの番組情報を見ることができます。

番組表から番組の詳細を見る

1 番組表でお好みの番組を選び、番組情報ボタンを押します

番組一覧

6時のニュース　月/日（曜日）　18:00-19:00

	NHK教育 021 022 023	○○放送 041 042 043	○○テレビ 081 082
18時	6時のニュース	アニメ○○マン	美味しい料理
19時	地方のニュース	サスペンス劇場	時代劇
20時	天気予報		○○ミュージック
21時	9時のニュース	バラエティー	映画

(矢印)で選択・(決定)で詳細・(戻る)/(番組表)で終了

2 番組表ボタン、戻るボタンのいずれかを押す

電子番組表が終了します。

視聴している番組の内容を見るには

1 番組情報ボタンを押す

現在視聴している番組情報が表示されます。

2 番組表ボタン、戻るボタンのいずれかを押す

番組情報が終了します。

番組表からチャンネルを選局する

番組表からチャンネルを選局するには

1 番組表ボタンでお好みの番組を選ぶ

2 決定ボタンを押すと選んだチャンネルを選局する

お知らせ

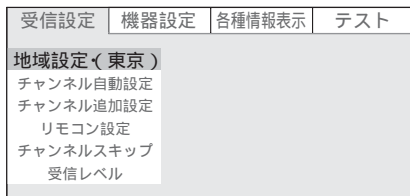
※電子番組表(EPG)を表示できるのは、地上デジタル放送を視聴中のみです。
※「地上デジタル放送」を選択した状態で本機の電源をオフにした場合に電子番組表(EPG)が更新されます。デジタル放送を視聴しているときは、視聴している番組の内容のみが更新されます。「地上アナログ」または「ビデオ」が選択されている状態で本機の電源をオフにしても、電子番組表（EPG）は更新されません。
※本機を初めてご使用になるときや使いはじめのときには、「地上デジタル」を選択した状態で約1時間から1時間半の間電源をオフにする必要があります。
・実際に電子番組表（EPG）が表示されるまでの時間は、地域によって異なります。あらかじめご了承ください。
※受信状態によっては、番組内容を取得できない場合があります。そのときは、番組表の画面に「データがありません」とメッセージが表示されます。
※放送局の都合により、番組が変更される場合があります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。

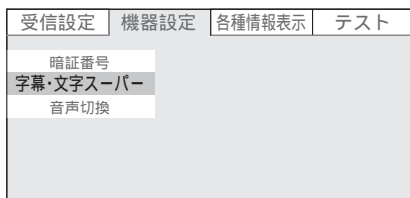
デジタル放送の機能を設定する

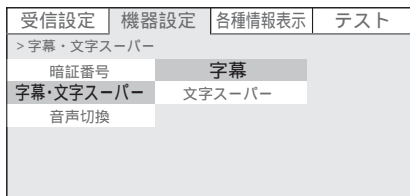
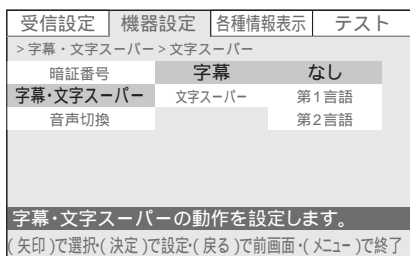
リモコンから、デジタル放送の機能を設定します。

字幕を表示する

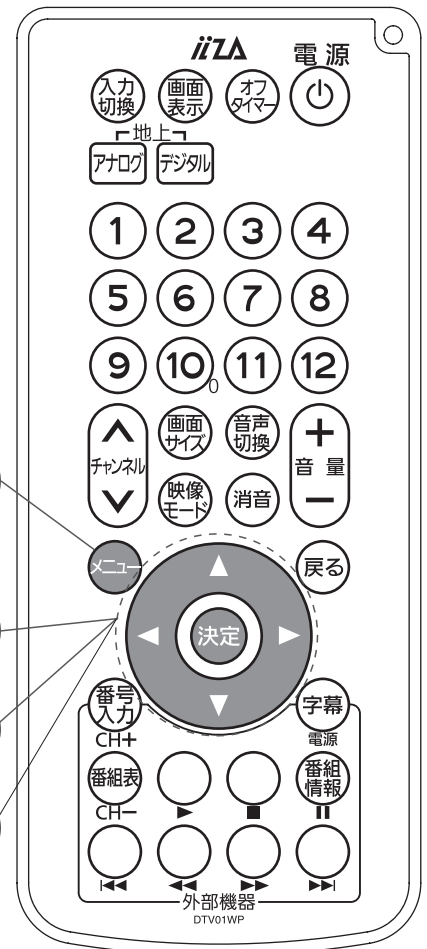
リモコンから、字幕放送の番組中に字幕を表示します。
また、表示される言語を選択することができます。

1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16 ページを参照して、
メニューを表示してください。

2 で「機器設定」を選び、で「字幕・文字スーパー」を選び、決定ボタンを押す

3 で「字幕」を選び、決定ボタンを押す

字幕のメニューが表示されます。

4 でお好みの設定を選び、決定ボタンを押す

なし　　：字幕の表示無し（工場出荷時の設定）
第１言語：日本語
第２言語：英語

5 メニューボタンを押す

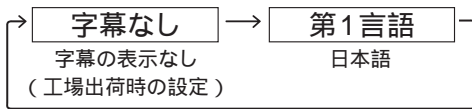
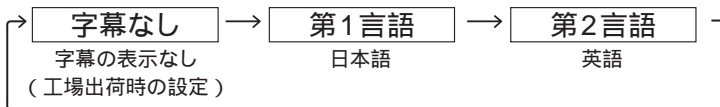
操作を終了します。

字幕/文字スーパーを表示する

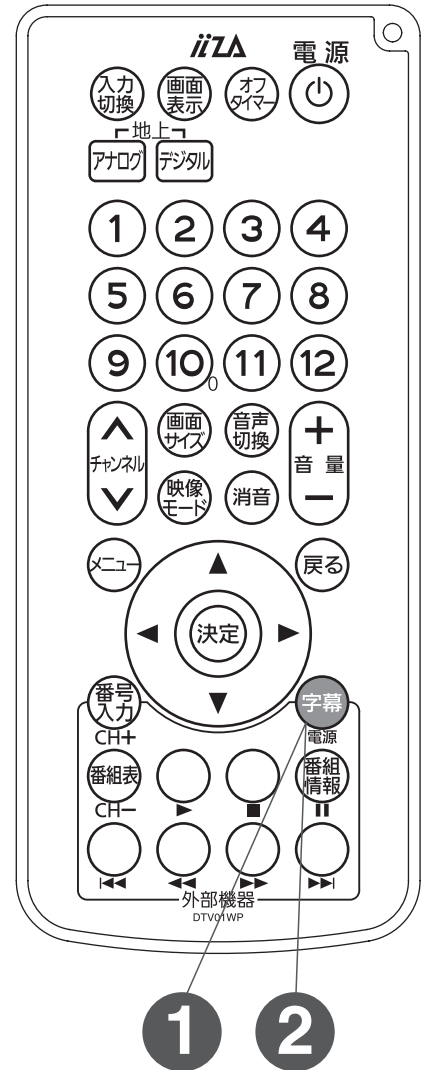
リモコンダイレクトキーから設定する場合

1 字幕ボタンを押す

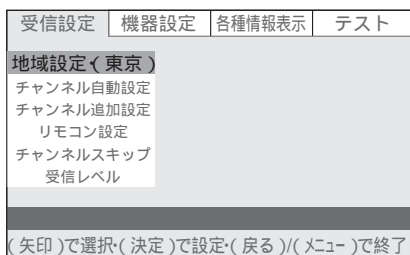
2 お好みの設定になるまで字幕ボタンを押し続ける

※ボタンを押すたびに、次のように切換ります。

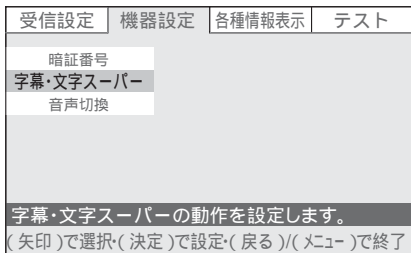
●「第1言語」のみで放送される番組の場合

●「第1言語」／「第2言語」で放送される番組の場合

お知らせ

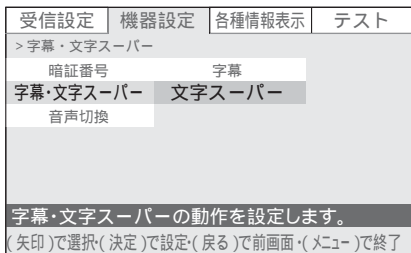
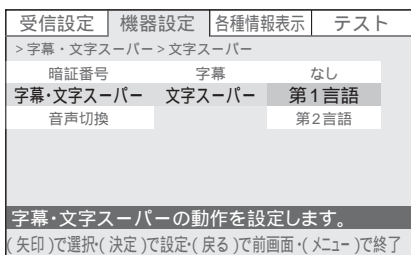
※字幕のない放送番組の場合には、「字幕なし」のみが表示されます。

文字スーパーを表示する

緊急警報情報など、視聴者にお知らせしたい情報を番組放送中に表示します。
また、表示される言語を選択することができます。

1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16 ページを参照して、
メニューを表示してください。

文字スーパーを表示する つづき

2 ボタンで「機器設定」を選び、ボタンで「字幕・文字スーパー」を選択し、決定ボタンを押す

3 ボタンで「文字スーパー」を選び、決定ボタンを押す

文字スーパーのメニューが表示されます。

4 ボタンでお好みの設定を選び、決定ボタンを押す

なし　　：文字スーパーの表示なし
第１言語：日本語（工場出荷時の設定）
第２言語：英語

5 メニューボタンを押す

操作を終了します。

おしらせ

文字スーパーの設定を行っても、つぎの場合には文字スーパーは表示されません。
※文字スーパーのない放送番組を視聴している場合。
※設定された言語による文字スーパーの対応がない放送番組を視聴している場合。

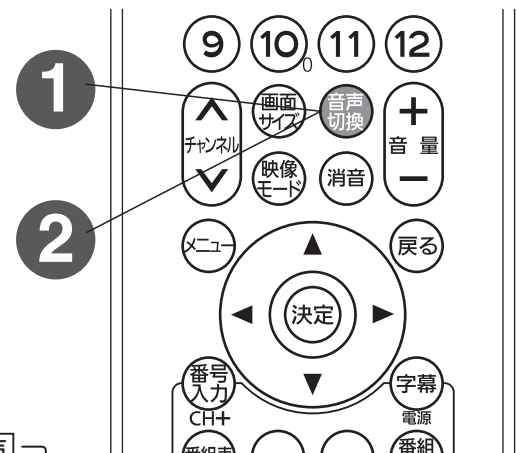
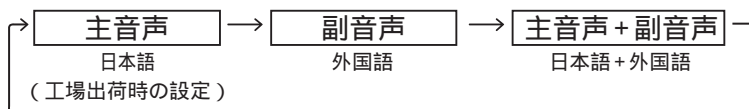
音声を切換える

複数の音声による放送番組を視聴している場合、音声モードを切替えることができます。

1 音声切換ボタンを押す

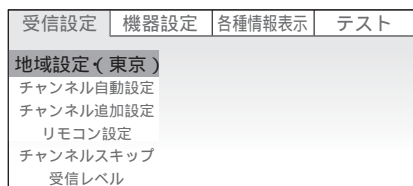
2 お好みの設定になるまで音声切換ボタンを押し続ける

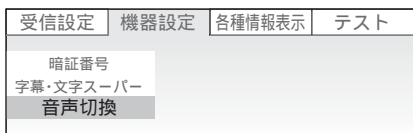
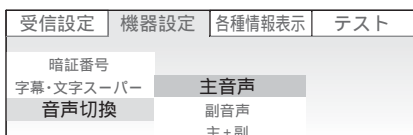
※ボタンを押すたびに、次のように切換ります。

●二重放送の場合

お知らせ

※複数の音声による放送番組を視聴している場合に、切換えることができます。
※放送番組によって音声の種類と数が異なります。
（「ステレオ」と表示されることがあります。）

地上デジタルのメニューより設定する場合

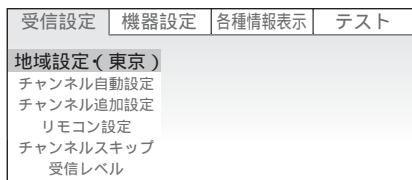
1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16 ページを参照して、メニューを表示してください。

2 ボタンで「機器設定」を選び、ボタンで「音声切換」を選択し、決定ボタンを押す

3 ボタンでお好みの設定を選び、決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押す

操作を終了します。

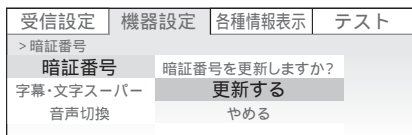
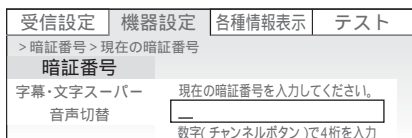
暗証番号を設定する

数字4桁を暗証番号として設定します。デジタル放送の全メニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻すときに必要となります。

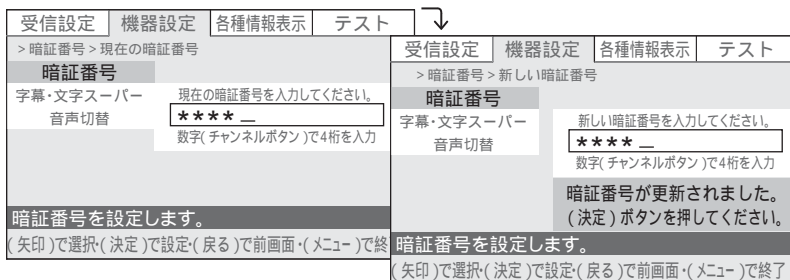
1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16ページを参照して、メニューを表示してください。

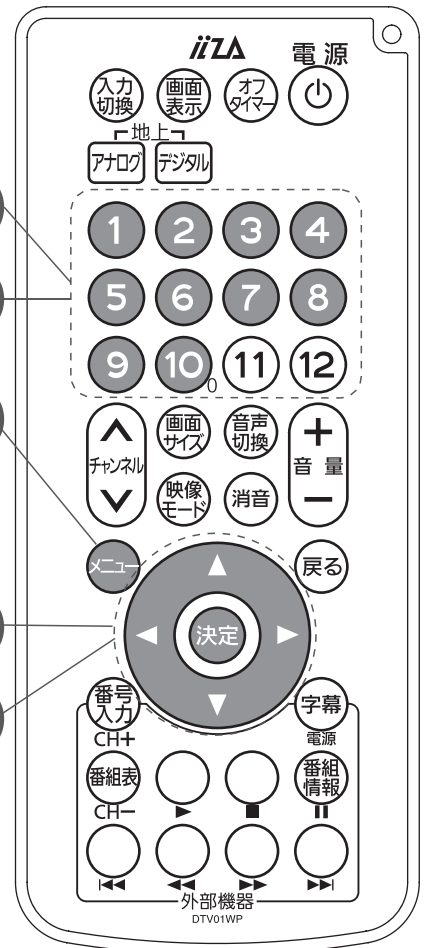
2 ◁○▷ボタンで「機器設定」を選び、△○▽ボタンで「暗証番号」を選択し、決定ボタンを押す

3 △○▽ボタンで「更新する」を選び、決定ボタンを押す

暗証番号入力のためのテキストボックスが表示されます。

4 テキストボックスに現在設定されている暗証番号を入力する

工場出荷時の暗証番号は「9999」に設定されています。

5 テキストボックスに新規に設定する暗証番号を入力する

※暗証番号を変更した場合は、メモ用紙に記入するなどして大切に保管してください。

6 メニューボタンを押す

操作を終了します。

お知らせ

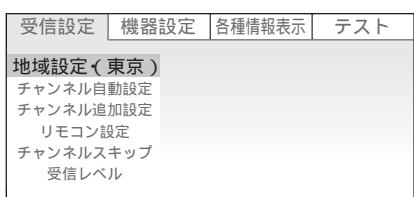
※手順❸で「やめる」を選択すると、設定をしないまま、「暗証番号」を終了します。
※手順❹で入力した暗証番号が、設定されている暗証番号と一致しない場合、「暗証番号が違います。(戻る)ボタンを押してください」とメッセージが表示されます。暗証番号を入力しなおしてください。
※暗証番号を変更・更新した場合、「暗証番号が更新されました」とメッセージが表示されます。
※暗証番号を忘れないようにしてください。暗証番号を忘れると、「地上デジタル設定」の初期化ができなくなります。

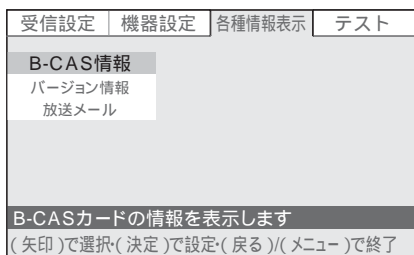
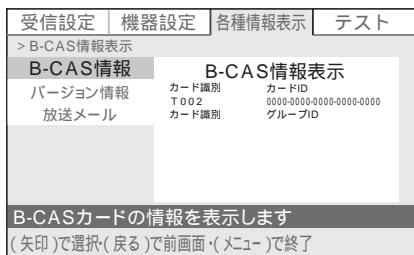
情報を確認する

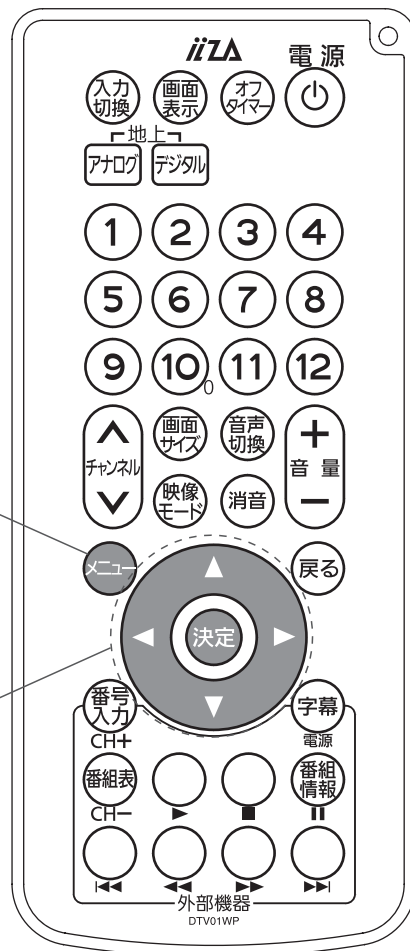
B-CASカード番号、本機のソフトウェア情報、放送メールを表示して確認します。

B-CAS番号を確認する〈B-CAS〉

本機能はB-CASカードの不具合などが発生した場合に、B-CASカードIDなど、必要な情報を確認するために使います。

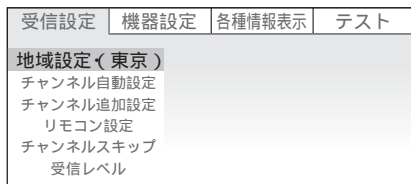
1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16 ページを参照して、メニューを表示してください。

2 ボタンで「各種情報表示」を選び、ボタンで「B-CAS」を選択し、決定ボタンを押す

3 「B-CAS情報表示」で表示される情報を確認する

4 メニューボタンを押す

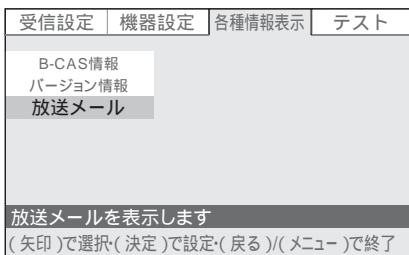
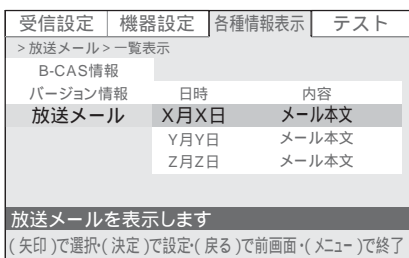
操作を終了します。

本機のソフトウエア情報を確認する〈ID情報〉

本機能は本機で不具合が発生した場合に、サービスマンが本機のソフトウェアのバージョンを確認するために使います。

放送メールを確認する〈放送メール〉

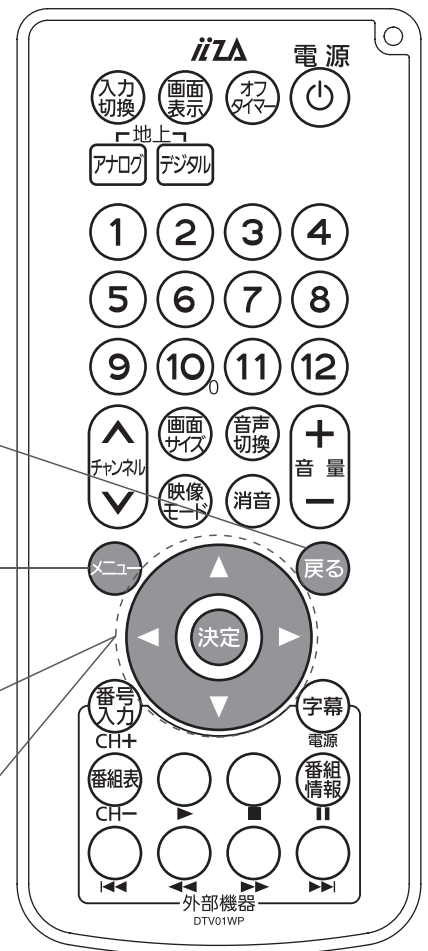
1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16 ページを参照して、
メニューを表示してください。

2 ◀▶ボタンで「各種情報表示」を選び、▲▼ボタンで「放送メール」を選択し、決定ボタンを押す

放送メールがある場合、放送メールの一覧が表示されます

3 ▲▼ボタンで詳細情報を確認したいメールを選択し、決定ボタンを押す

4 「放送メール詳細表示」で表示される情報を確認し、戻るボタンを押す

5 手順❸❹を繰り返し、詳細情報を確認したいメールを選び、情報をみる

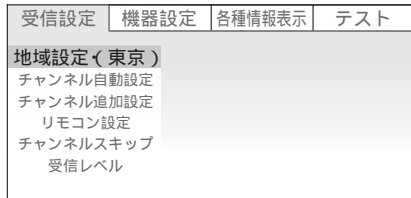
6 メニューボタンを押す

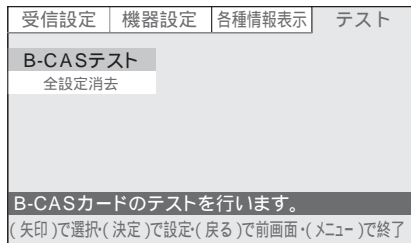
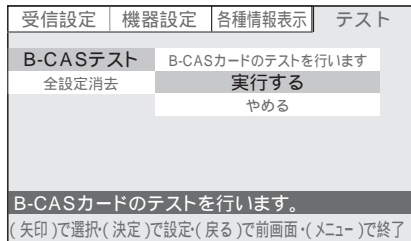
操作を終了します。

お知らせ

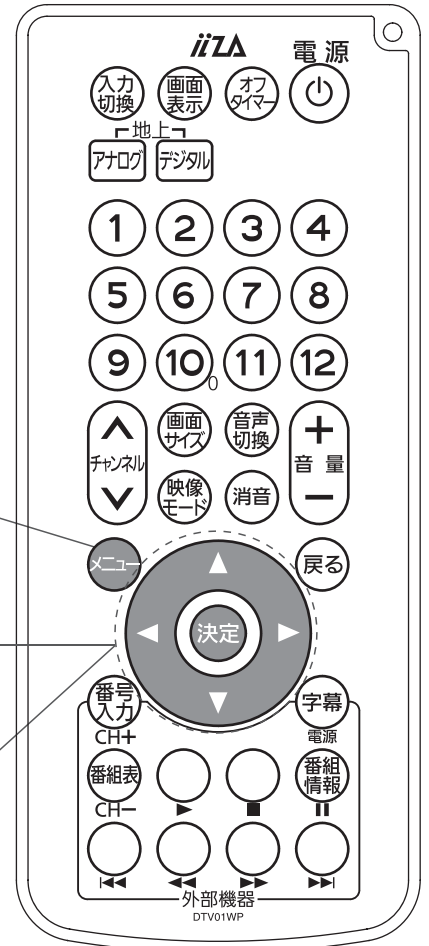
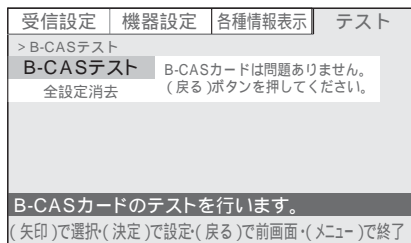
※放送メールがない場合は、空欄のまま何も表示されません。
※放送メールは、最大7件まで表示されます。7件以上になった場合は、古い放送メールから自動的に削除されます。

システム動作テストを行う

B-CASカードが正しく装着されているかをテストします。

1 地上デジタル放送のメニューを表示する

16 ページを参照して、
メニューを表示してください。

2 ボタンで「テスト」を選び、ボタンで「B-CASテスト」を選択し、決定ボタンを押す

3 ボタンで「実行する」を選び、決定ボタンを押す

4 テスト結果を確認し、メニューボタンを押す

操作を終了します。

お知らせ

※カードに問題がない場合は「B-CASカードは問題ありません。(戻る)ボタンを押してください」とメッセージが表示されます。

※カードに問題がある場合は「B-CASカードのテストでエラーが見つかりました。(戻る)ボタンを押してください」とメッセージが表示されます。この表示が出た場合は、お求めの販売店にご連絡ください。

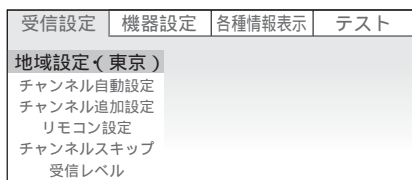
※手順 3 で「やめる」を選択すると、テストを実行せずに「B-CASテスト」を終了します。

地上デジタル放送の設定を初期化する

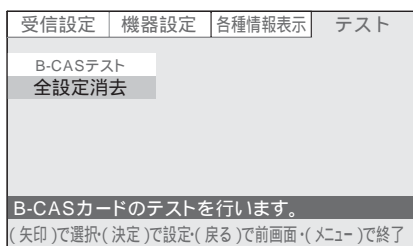
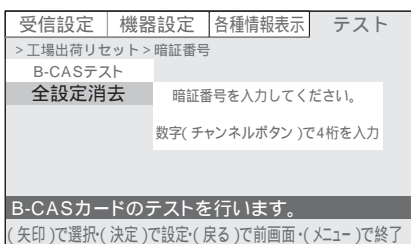
「受信設定」「機器設定」の設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。
※「受信設定」については、17ページをご覧ください。

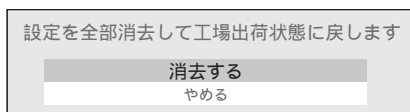
1 地上デジタル放送のメニューを表示する

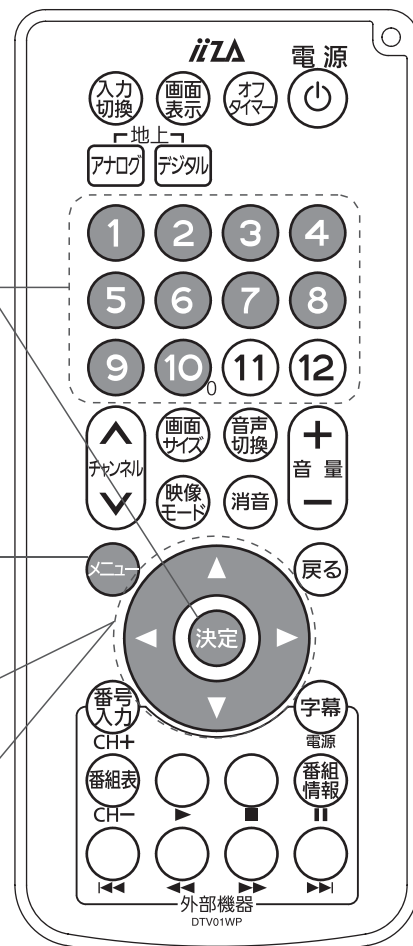
受信設定 | 機器設定 | 各種情報表示 | テスト

地域設定・(東京)
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル

16 ページを参照して、メニューを表示してください。

2 で「テスト」を選び、で「全設定消去」を選択し、決定ボタンを押す

暗証番号入力のためのテキストボックスが表示されます。

3 テキストボックスに現在設定されている暗証番号を入力し、決定ボタンを押す

4 で「消去する」を選び、決定ボタンを押す

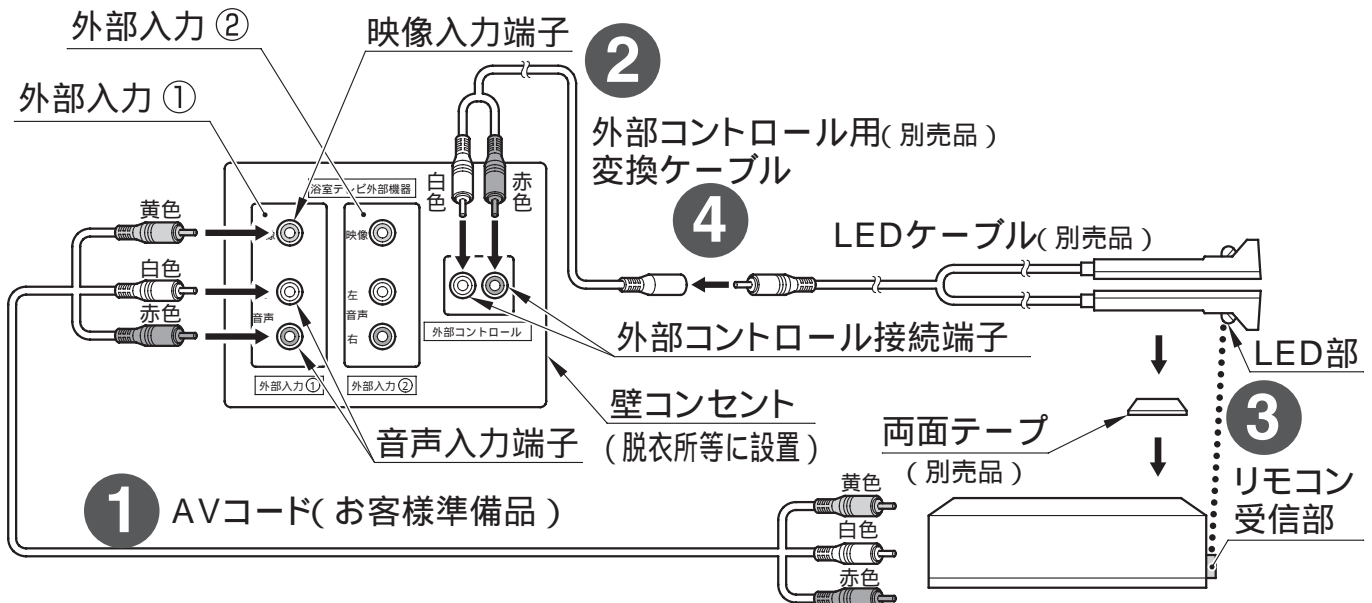
「受信設定」「機器設定」の設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

5 メニューを押す

操作を終了します。

お知らせ

※手順 ❸ で入力した暗証番号が、設定されている暗証番号と一致しない場合、「暗証番号が違います。(戻る)ボタンを押してください」とメッセージが表示されます。暗証番号を入力しなおしてください。
※手順 ❹ で「やめる」を選択すると、消去を実行せずに「全設定消去」を終了します。

外部機器をつないで使う

外部機器との接続

ビデオ、DVDプレイヤーなどの外部機器を接続することができます。
外部機器は2台まで接続することができます。

1. AVコード（お客様準備品）を使用してコンセントの外部入力①または外部入力②と外部機器の映像・音声出力を接続してください。
   別売品の外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルを使用すると、リモコンで外部機器が操作出来ます。

2. 外部コントロール用変換ケーブルを外部コントロール接続端子に接続してください。

3. LEDケーブルのLED部を外部機器のリモコン受光部に向けて設置し、両面テープで固定してください。
   ※リモコン受光部の位置は外部機器によって異なります。わからない場合は、外部機器の取扱説明書でご確認ください。
   ※動作確認終了後にLED部を両面テープで固定してください。
   ※固定方法の詳細は次のページをご覧ください。

4. 外部コントロール用変換ケーブルとLEDケーブルを接続してください。

お知らせ

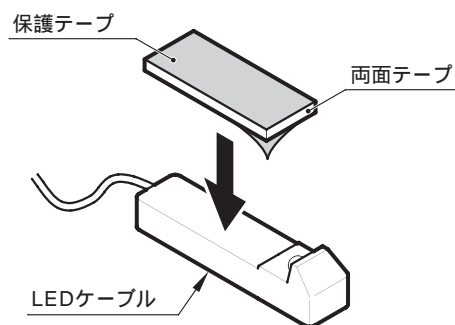
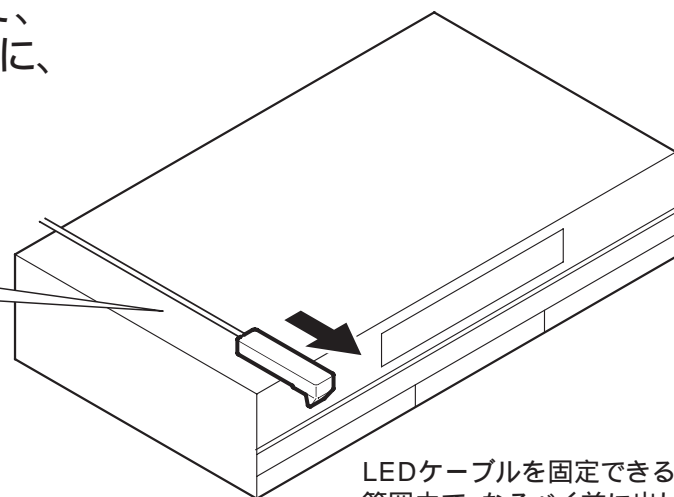
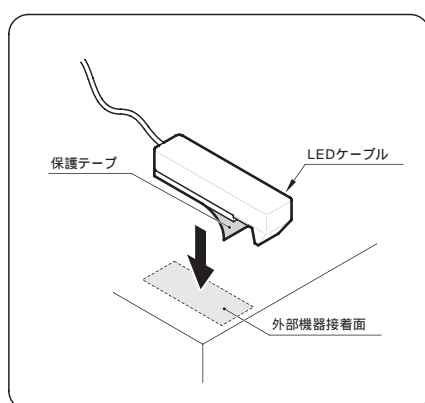
※外部機器を接続して使うには、壁コンセントの設置や配線工事が別途必要になります。
※別売品の外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルは、お求めの販売店にご相談ください。
※外部機器によっては、リモコンで外部機器を操作出来ない場合があります。
※外部機器を1台しか接続しない場合、LED部は2つあるうち1つしか使用しません。
※コンセントから外部機器までのケーブル長さは約2mです。延長する事はできません。
　延長した場合リモコン操作ができなくなる可能性があります。
※ご使用になる外部機器によっては、リモコン操作できない製品や特定のボタンが使用できない製品があります。そのような場合には外部機器付属のリモコンを使用して、浴室外で操作してください。
※初期設定が必要な外部機器をご使用になる場合は、あらかじめ外部機器付属のリモコンで設定を行ってください。
※リモコンコード設定時に外部機器付属のリモコンをお使いになる場合、浴室内が乾燥した状態でお使いください。（外部機器のリモコンは防水でない場合があります。）
※外部機器からの入力はRCAピンプラグによるコンポジット信号のみですので標準画質の表示となります。

接続のご注意

- 接続するときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- プラグは端子の奥までしっかりと差し込んでください。
  不完全な接続は、画像や音声のノイズや雑音の原因となります。
- 接続をはずすときは、ケーブルを無理にひっぱらず、プラグの先を持って抜いてください。
- 複数の機器と接続する場合は、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切ってください。

LEDケーブル（別売品）の固定方法

1 両面テープの片側の保護テープをはがして、LEDケーブルに貼り付ける

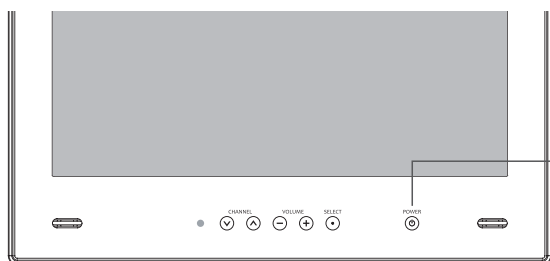
貼り付けた両面テープは
上から強く押し付けてください。

2 反対側の保護テープをはがして、DVDプレーヤー等の外部機器に、LEDケーブルを貼り付ける

LEDケーブルと外部機器のリモコン受光部との距離は50mm以内を目安に設置してください。

お知らせ

※外部機器のリモコン受光部をよく確かめ、LEDケーブルを多少動かしても充分動作する位置に設置してください。
※外部機器のリモコン受光部については、ご使用の外部機器の取扱説明書をご覧ください。
※LEDケーブルの仕様および外観は機器改良の為、予告なく変更することがあります。

外部入力をみる

- 外部入力端子に接続された映像機器(ビデオ、DVDプレーヤー等)の信号を表示します。外部入力端子に入力信号がない場合は表示しません。(映像入力信号がない場合は画面に「ビデオ」を表示しつづけます。)
- 外部入力画面は「ビデオ1」と「ビデオ2」があります。
- 別売品の外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルを使用すると、接続された外部機器(ビデオ、DVDプレーヤー等)を浴室内から操作することができます。その場合、リモコンコードの設定が必要です。
  リモコンコードの設定については、「リモコンコードを設定する」(57ページ)を確認してください。
  別売品については、お求めの販売店にご相談ください。

外部入力を見る

モニター操作キーが点灯します。

1 電源を入れる

動作状態になります。押すたびに電源を「入」・「切」します。

2 入力切換ボタンを押す

入力モードのリストが表示され、視聴している入力モードがハイライト表示になります。

3 入力切換ボタンまたは ◎ で切換えたい入力を選ぶ

「テレビ」、「ビデオ1」、「ビデオ2」から選びます。
選択すると、入力が切換わります。

4 外部機器操作ボタン「電源」で、外部機器の電源を入れる

5 外部機器をリモコンで操作する

お知らせ

※別売品の外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルが取り付けられていない場合は、4、5の操作はできません。別売品については、お求めの販売店にご相談ください。
※入力モードの切換えは、モニター操作キー「入力切換」でも行うことができます。

リモコンコードを設定する

- 外部機器を浴室内から操作するには、別売品の外部コントロール用変換ケーブル、LEDケーブルが必要です。別売品については、お求めの販売店にご相談ください。
- 外部機器（ビデオやDVDプレーヤーなど）に付属のリモコンを準備してください。
- 浴室テレビのリモコンに接続した外部機器（ビデオやDVDプレーヤーなど）のボタンを割り当てます。
- 外部機器（ビデオやDVDプレーヤーなど）に付属のリモコンから発信される信号を、浴室テレビに登録することで、ビデオやDVD、地上デジタルチューナー等を浴室内から操作することができます。
  ※ご使用になる外部機器によっては、操作できない場合や特定のボタンが使用できない場合があります。
- 以下、外部機器がDVDまたはビデオの場合を例にして説明します。手順に従ってリモコンコードを設定してください。
- リモコンコード設定時に外部機器付属のリモコンをお使いになる場合、浴室内が乾燥した状態でお使いください。（外部機器付属のリモコンは、防水でない場合があります。）

1 入力切換ボタンを押す

設定したい入力に切り換えます

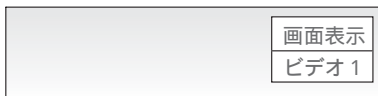
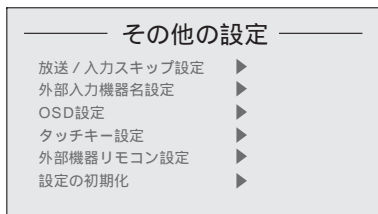
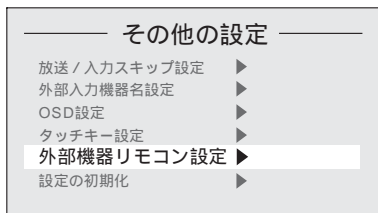
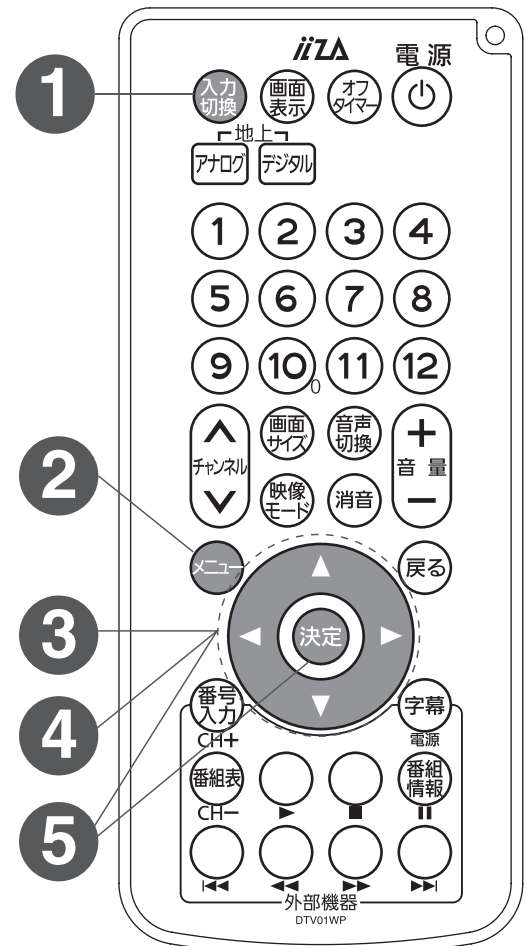
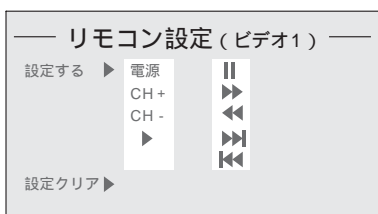
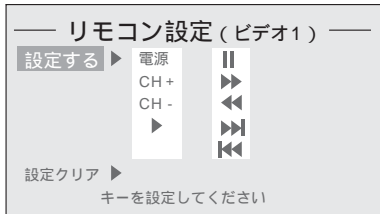
画面表示
ビデオ１

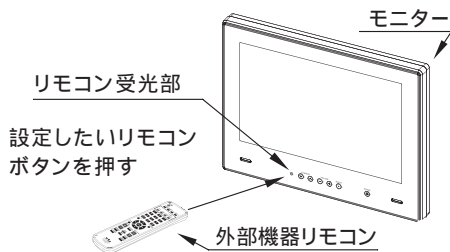
2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

3 を押し、「その他の設定」を選ぶ

その他の設定

- 放送／入力スキップ設定 ▶
- 外部入力機器名設定 ▶
- OSD設定 ▶
- タッチキー設定 ▶
- 外部機器リモコン設定 ▶
- 設定の初期化 ▶

4 ボタンで「外部機器リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す

5 ボタンで「設定する」を選び、決定ボタンを押す

6 ボタンで設定したいリモコンキーを選び決定ボタンを押す

「キーを設定してください」
というメッセージが出ます。

7 設定したい外部機器のリモコンを用意して、モニターのリモコン受光部に向けて、設定したいボタンを押す

この時、設定完了までリモコンボタンを押し続けてください。
（ボタンを押し続けないと設定できないことがあります）

設定できると、「設定終了です」というメッセージが出ます。
設定済みボタンの表示色は白→緑になります。

※浴室内が乾燥した状態で操作してください。
（外部機器リモコンが故障する恐れがあります）

8 手順 6 , 7 を繰り返し、て設定したい その他のリモコンキーを設定します

9 設定が終わったらメニューボタンを押す

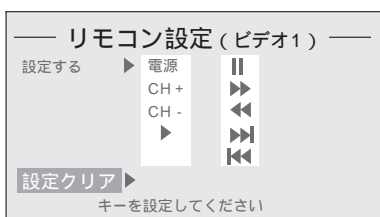
操作を終了します。

リモコンコードを設定解除する

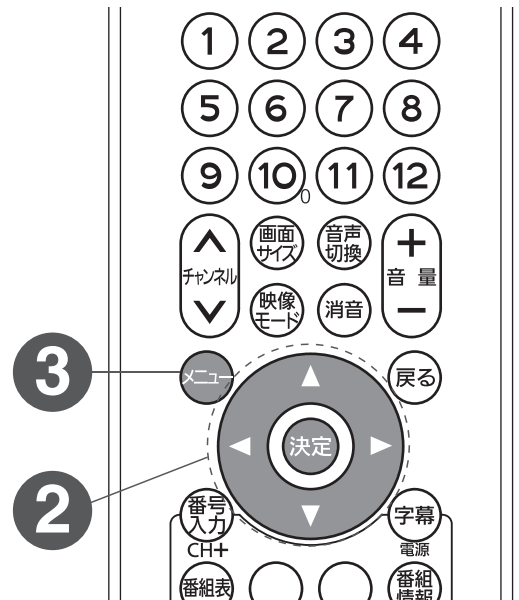
接続した外部機器（ビデオやDVDプレーヤーなど）の取替えなどでリモコンコードを
再設定する時に必要です。

1 機能設定の「外部機器リモコン設定」を選び、決定ボタンを押す

52ページの 1 ～ 4 を参照してください。

2 ボタンで「設定クリア」を選び、決定ボタンを押す

リモコンキー表示が
緑→白に変わり設定クリア
となります。

3 メニューボタンを押す

操作を終了します。

故障かな?!と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。

全般

こんな時は	ここを確かめて下さい	参照ページ
電源が勝手にオフになる	オフタイマーが設定されていませんか？	**（P.36、41、42参照）**
映像も音声もでない	入力モードが「ビデオ1」 もしくは「ビデオ2」になっていませんか？	**（P.56参照）**
電源が入らない	停電ではないですか？	
	ブレーカーは入っていますか？	
	停電復帰後、すぐに電源ボタンをONにしていませんか？	地上デジタルチューナーに電気を供給する時間が必要なため、ブレーカーをONにして約1分待った後、テレビの電源ボタンをONにしてください。
	電源ランプが点滅していませんか?	お求めの販売店にご連絡ください。**（保証書参照）**
リモコンが動作しない	電池の極性⊕⊖は正しい向きに入っていますか？	**（P.7、8参照）**
	リモコンの電池が消耗していませんか？	
	リモコンをモニターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	
	リモコン発信部やモニターのリモコン受光部が汚れていませんか？	
タッチキーで操作できない	タッチキーロックが「ロックする」に設定されていませんか？	**（P.40参照）**
映像はでるが音声がでない	音量調整が最小になっていませんか?	**（P.25参照）**
	「消音」状態になっていませんか?	
	音声出力設定が「外部」状態になっていませんか?	**（P.35参照）**
接続した機器の映像・音声がでない	プラグは各端子に正しく差し込まれていますか？	端子の奥まで正しく差し込んでください。**（P.54参照）**
色がうすい／色あいが悪い	色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか？	**（P.28参照）**
特定のチャンネルが映らない	受信チャンネルは正しく設定されていますか？	**（P.13、14、17～19参照）**
画面が明るい	明るさは正しく調整されていますか？	**（P.28参照）**
画面が暗い	明るさは正しく調整されていますか？	**（P.28参照）**
	浴室内の気温が低くありませんか？	本体温度が上がるともとに戻りますので、しばらくお待ちください。 故障ではありません。
音が急に小さくなる	スピーカー部の穴に水滴が溜まっていませんか？ **※スピーカー部にシャワーなどをかけると発生します。**	布で水滴を拭き取るか、強く息を吹きかけて水滴を飛ばしてください。 故障ではありません。 **※穴に先のとがったものは差し込まないでください。**

こんな時は	ここを確かめて下さい	参照ページ
画像に斑点や縞模様がでるとき	他の電気製品から雑音電波を受けていませんか？	雑音電波の原因である電気製品等を離してください。
画面が不鮮明、音声に雑音が入るとき	アンテナ線は正しく接続されていますか？	アンテナの角度、位置、方向などを調整してください。 お近くの電気店にご相談ください。
	屋外アンテナが切れたり外れたりしていませんか？	
	アンテナの向きが変わっていたり、こわれたりしていませんか？	
	自動車、電車、ネオン、高圧線、建物などからの雑音電波を受けていませんか？	
キー操作音がでない	キー操作音の設定が「オフ」になっていませんか？	**（P.40参照）**

デジタル放送関係

こんな時は	ここを確かめて下さい	参照ページ
映像も音声もでない	UHFアンテナの向きが変わっていたり、こわれたりしていませんか？	
	映像、音声のない放送ではありませんか？	
	「入力モード」が「ビデオ1」もしくは「ビデオ2」になっていませんか？	**（P.56参照）**
画面にモザイク（四角のノイズ）がでる	アンテナの向きがずれていませんか？	
	アンテナの前方に障害物はありませんか？	
	アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使っていますか？	
地上デジタル放送が受信できない	UHFアンテナが正しく設置されていますか？	
	お住まいの都道府県を正しく設定していますか？	**（P.17参照）**
	受信チャンネルは正しく設定されていますか？	**（P.18、19参照）**
	地上デジタル放送がエリア外ではありませんか？	
	ご自宅のアンテナ端子がケーブルテレビのパススルー方式に対応していますか？	
電子番組表（EPG）が表示されない／電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	視聴していないチャンネルは電子番組表に情報が表示されません。 **※電源を「切」にしたときに番組情報を取得します。**	
	最初に番組表を表示するときは、データ受信に時間がかかります。 しばらくお待ちください。	
字幕や文字スーパーがでない	字幕や文字スーパーの設定がオフになっていませんか？	**（P.45～47参照）**
	字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？	

メッセージ表示一覧

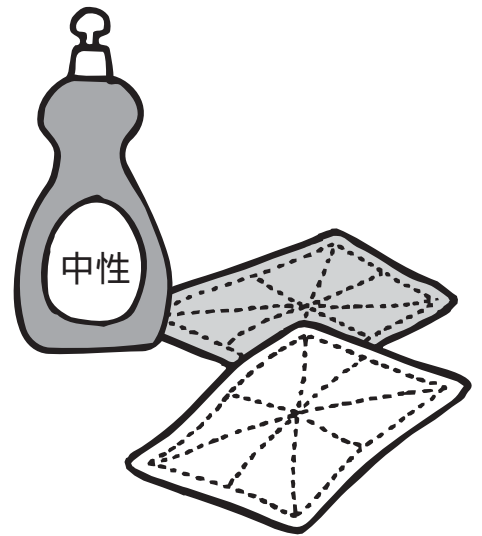
こんな時は	ここを確かめて下さい	参照ページ
電源オン　しばらくおまちください	電源ONから映像が出るまでの間に表示されます。	画像が出るまでしばらくお待ちください。
このモードでは操作できません	地上デジタル視聴時のみ有効な操作が選択されています。	地上デジタルに切換えて、ご使用ください。**（P.24参照）**
オフタイマーあと1分未満	オフタイマー設定時に、電源が待機状態になる1分前から表示されます。	**（P.36、41、42参照）**
このボタンはチャンネル登録されていません	登録されていないチャンネル番号（「1」～「12」）が選択されています。	別のチャンネル番号を選択してください。**（P.24参照）**
無効なチャンネル番号です	無効な3桁チャンネル番号が入力された時に表示されます。	チャンネル番号をご確認ください。**（P.24参照）**
受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください	アンテナ線の設置状況・接続をご確認ください。**（P.22、23参照）**	
B-CASカードを確認してください	この表示が出た場合は、お求めの販売店にご連絡ください。	
データ取得中です。しばらく待って操作してください。	番組表（EPG）のデータ取得中の為、表示ができない状態です。	しばらく待ってから操作してください。**（P.44参照）**
緊急放送が始まりました。（決定）ボタンで切り換わります	緊急放送が始まっています。	「決定」を押し、必ず内容をご確認ください。
（メニュー）ボタンを押してチャンネル設定を行ってください	地上デジタルの「都道府県設定」「受信チャンネル設定」の設定ができていません。	メニューの「地上デジタル設定」からこれらの設定をしてください。**（P.17～19参照）**
受信できないチャンネルがあれば、チャンネル設定を行ってください	チャンネル周波数変更が発生した場合に表示されます。	受信できないチャンネルがある場合は、メニューの「地上デジタル設定」から「地域設定」「チャンネル自動設定」を行ってください。**（P.17～19参照）**
このチャンネルは受信できません	視聴できないチャンネルが選局されています。	別のチャンネルを選局してください。**（P.24参照）**
このチャンネルは放送されていません	選局されたチャンネルが休止中です。	別のチャンネルを選局してください。**（P.24参照）**
このモードでは操作できません	外部入力時に音声出力切換えを行った場合に表示されます。	**（P.32、48参照）**

お手入れ

きれいな画面を保つには

画面を指で触らないのはもちろん、入浴後、毎日やわらかい布で水滴を拭き取り、水あかがつかないようにしておくのが理想的です。

指紋や水あかがついてしまったら

水でうすめた浴室用中性洗剤に布をひたし、固く絞って拭き取り、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。

石鹸、シャンプーや洗剤などがかかってしまったら

軽く絞った布でよく拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。放置すると水あかや石けんカスなどがつき、画面が見にくくなったり故障の原因となります。

⚠注意

※お手入れの際、画面を強く押したり、強くこすったりしない
画面に傷がついたり、映像に色むらが出たりして、故障の原因となります。

※お手入れの際、スピーカー部を先のとがったもので掃除しない
スピーカーの防水機能が損なわれ、故障の原因となります。

※以下の洗剤、用品などは使用しない
製品に不具合が生じたり、使用方法によっては人体に影響を及ぼすおそれもあります。

- 「酸性」の表示のある洗剤、洗浄剤、漂白剤
- 「アルカリ性」の表示のある洗剤、洗浄剤、漂白剤
- クレンザー（粉末や研磨力のあるもの）
- 薬品（塩酸など）
- 溶剤（シンナー、アセトンなど）
- みがき粉
- ナイロンたわし/金属たわし
- ナイロン不織布/ナイロンネット付スポンジ
- サンドペーパー
- その他先のとがったもの

はじめに
ご使用の前に
準備編
操作編
必要なとき

アフターサービスについて

修理を依頼する前に「故障かな？！と思ったら」（P.59）をご確認ください。

保証について

●本製品は、設置日から１ヵ年保証です。
●本製品には保証書を別途添付しています。必ずお引渡年月日、お取付店名、扱者印などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

保証期間中に修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認ください。なお、異常のあるときには、お求めの販売店・お取付工事店に修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所・お名前・電話番号
- 製品名：浴室テレビ
- 品　番：WP-1400L・WP-1800
- お引渡日（保証書をご覧ください）
- 故障内容・異常状況（P.59でご確認ください）
- 訪問ご希望日

保証期間経過後、修理を依頼されるとき

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

本製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

なお、補修用部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

修理料金のしくみ

修理料金は 技術料 ＋ 部品代 ＋ 訪問料 で構成されています。

- 訪問料：製品のある場所へ技術者が訪問する場合の費用です。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
- 技術料：診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

故障があった場合の新品交換

不具合・故障の内容によっては、製品交換にて対応させて頂く場合がございます。
無料修理により取り外された部品・製品は、中野エンジニアリング（株）の所有となります。

仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

品番	WP-1400L	WP-1800
定格電圧	AC100V（モニター部 DC 13V）	
定格周波数	50/60Hz 共用	
定格消費電力	24W（待機時 0.82W）	31W（待機時 0.82W）
年間消費電力	39kWh／年	44kWh／年
	区分:DI（2012年度基準）	
外形寸法	モニター:H293×W374×D31㎜	モニター:H340×W452×D35.5㎜
	電源・チューナーボックス:H160×W232×D70㎜（突起部を除く）	
重量	モニター:2.9kg	モニター:3.9kg
	電源・チューナーボックス:1.7kg	
使用温度	0℃～50℃	
アナログ受信チャンネル	VHF:1～12ch、UHF:13～62ch、CATV:C13～C63ch	
デジタル受信チャンネル	001～999ch	
画面サイズ	14型　アスペクト比 16:10（303×190）	18型　アスペクト比 15:9（380×228）
表示素子	TFT カラー液晶	
有効画素数	WXGA:1280×800	WXGA:1280×768
音声実用最大出力	1W+1W	
スピーカー	φ28㎜×2　防水スピーカー	φ32㎜×2　防水スピーカー
アンテナ入力	F型接栓	
外部AV入力	RCAピンジャック 2系統	
外部音声出力	RCAピンジャック 1系統	
その他の機能	外部機器コントロール機能 自動電源オフ機能 EPG（電子番組表）対応（最大48時間）	
付属品	・リモコン（1個） ・リモコン動作確認用ボタン型電池CR2032（1個） ・リモコンホルダー（1個） ・リモコンホルダー固定用両面テープ（1個） ・取扱説明書（1冊） ・保証書（1部）	

お知らせ

※BSデジタル放送、110度CSデジタル放送などは受信できません。
BSデジタル放送、110度CSデジタル放送をお楽しみいただく場合は、別途BSデジタル放送、110度CSデジタル放送に対応したチューナーが必要となります。
※データ放送・双方向通信には対応しておりません。
※CATVは配信会社によっては受信できない場合があります。詳しくは各CATV会社にご確認ください。
※浴室テレビに使用している液晶パネルは、非常に高度な技術で作られており。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。